

2024 年度
一般社団法人神奈川県作業療法士会
第 11 回 社員総会
議案書

期日：2024 年 5 月 12 日（日）

午前 10 時 00 分～12 時 30 分（受付時間 9 時 40 分～）

会場：神奈川県立かながわ労働プラザ

住所：神奈川県横浜市中区寿町 1-4

電話：045-633-5413



一般社団法人 神奈川県作業療法士会

事務所

〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301

Tel&Fax：045-663-5997 <https://kana-ot.jp/>

E-mail:jimu@kana-ot.jp

（JR 根岸線関内駅より徒歩 10 分）

目 次

総会次第	2
一般社団法人神奈川県作業療法士会 2024・2025 年度社員一覧	3
一般社団法人神奈川県作業療法士会 2023～2026 年度中・長期計画	6
永年会員および学生会員制度について	8
一般社団法人神奈川県作業療法士会 組織図改編について	9
決議事項	
第 1 号議案 2023 年度（令和 5 年度）事業報告	10
第 2 号議案 2023 年度（令和 5 年度）決算報告ならびに監査報告	33
第 3 号議案 2024 年度（令和 6 年度）事業計画（案）	41
第 4 号議案 2024 年度（令和 6 年度）予算（案）	51
第 5 号議案 定款の修正について	54
第 6 号議案 規程の修正について	56
第 7 号議案 代議員選挙結果	65
資 料	
・ 2023 年度（令和 5 年度）後援・協賛等一覧	69
・ 2023 年度（令和 5 年度）賛助会員一覧	70
・ 2023 年度（令和 5 年度）名誉会員一覧	70
・ 2023 年度（令和 5 年度）他組織・団体等の県士会代表委員名簿	70
・ 一般社団法人日本作業療法士会 特別表彰者一覧	70
・ 第 8 期（2023・2024/令和 5・6 年度）理事・監事名簿	71
・ 第 8 期（2023 年度/令和 5 年度）各部・委員名簿	72
・ 一般社団法人神奈川県作業療法士会 会員数結果(2023 年度/令和 5 年度版)	76

2024 度（令和 6 年度）一般社団法人神奈川県作業療法士会

第 11 回 社員総会 総会次第

1. 代議員選挙報告
2. 開会のことば
3. 議長団選出（議長）
4. 総会役員選出（副議長、書記、議事運営委員、議事録署名人）
5. 会長挨拶
6. 議事運営委員会報告
7. 総会成立宣言
8. 決議事項
 - 第 1 号議案 2023 年度（令和 5 年度）事業報告
 - 第 2 号議案 2023 年度（令和 5 年度）決算報告ならびに監査報告
 - 第 3 号議案 2024 年度（令和 6 年度）事業計画（案）
 - 第 4 号議案 2024 年度（令和 6 年度）予算（案）
 - 第 5 号議案 定款の修正について
 - 第 6 号議案 規程の修正について
 - 第 7 号議案 代議員選挙結果
9. 議長団の解任
10. 閉会のことば
11. 県士会表彰式

一般社団法人神奈川県作業療法士会
2024・2025年度（令和6・7年度）社員一覧

定数：77名 定数算定日：2023（令和5年）年10月1日
登録社員数：77名

【内訳】Aブロック（横浜市・川崎市・相模原市に勤務している正会員）：46名
Bブロック（県域：政令指定都市を除く地域に勤務している正会員）：31名

*所属は2024(令和6年)4月1日現在

【Aブロック46名（横浜市・川崎市・相模原市に勤務している正会員）（届出順・敬称略）】

No.	氏名	所属
1	玖島 弘規	横浜旭中央総合病院
2	宮内 貴之	湘南医療大学保健医療学部
3	中里 和也	ワン・ライフ訪問看護ステーション
4	井本 裕堂	医療法人社団緑成会 横浜総合病院
5	本間 嗣崇	神奈川県立麻生支援学校
6	野本 義則	自宅会員
7	福留 大輔	横浜旭中央総合病院
8	林 慎也	アール・クラ横浜
9	金山 桂	介護老人保健施設 千の風・川崎
10	内山 博之	学校法人岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校
11	水野 友和	江田記念病院
12	石井 将文	東戸塚記念病院
13	榎本 光彦	東戸塚記念病院
14	瀧澤 亮	東戸塚記念病院
15	柳橋 宏亮	江田記念病院
16	鈴木 香苗	関東病院
17	佐藤 光	済生会 東神奈川リハビリテーション病院
18	田島 明子	湘南医療大学
19	中井 琢哉	北里大学病院
20	戸塚 香代子	川崎市中央療育センター
21	花形 真	医療法人財団明理会 介護老人保健施設相模ロイヤルケアセンター
22	清水 謙太	Luxem 訪問看護リハビリステーション川崎宮前
23	村越 妙美	川崎医療生活協同組合 介護老人保健施設樹の丘
24	吉村 由香	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
25	平井 翔也	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
26	横山 真佑	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
27	吉武 信治	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
28	宇都宮 裕人	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院

29	中西 みなみ	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
30	水島 加奈子	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
31	牧山 大輔	イムス横浜狩場脳神経外科病院
32	金原 衣理子	横浜旭中央総合病院
33	宮田 和典	横浜なみきりハビリテーション病院
34	郷 康人	イムス横浜狩場脳神経外科病院
35	渡瀬 広之	横浜なみきりハビリテーション病院
36	山中 竜太	イムス横浜狩場脳神経外科病院
37	加藤 秀隆	明芳会 江田記念病院
38	小林 佳弘	ふれあい東戸塚ホスピタル
39	佐々木 秀一	北里大学病院
40	黒崎 空	北里大学病院
41	宮崎 道輝	北里大学病院
42	千葉 周平	北里大学病院
43	佐々木 露葉	麻生リハビリ総合病院
44	山勢 健太郎	平成横浜病院
45	早川 大貴	ふれあい鶴見ホスピタル
46	堀内 翔平	横浜旭中央総合病院

【Bブロック 31名(県域:政令指定都市を除く地域に勤務している正会員)(届出順・敬称略)】

No.	氏名	所属
1	重田 優子	ふれあい平塚ホスピタル
2	佐藤 慶一	横須賀市立うわまち病院
3	山口 拓也	鶴巻温泉病院
4	魚岸 実弦	スターホーム株式会社グループホームセラヴィ葉山
5	和田 尚	訪問看護リハビリステーションたすけあい
6	吉本 雅一	湘南鎌倉総合病院
7	藤本 一博	茅ヶ崎新北陵病院
8	遠藤 毅	茅ヶ崎新北陵病院
9	小泉 雅哉	鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院
10	奥原 孝幸	神奈川県立保健福祉大学
11	甲本 夏穂	国際医療福祉大学
12	澤口 勇	訪問看護ステーション レングの花
13	黒木 裕介	葉山ハートセンター
14	齊田 浩彰	湘南鎌倉総合病院
15	古屋 陣	北小田原病院
16	田中 秀和	北小田原病院
17	岡 由紀恵	北小田原病院

18	伏見 幹	北小田原病院
19	塚田 菜穂	湘南鎌倉総合病院
20	高橋 若奈	湘南鎌倉総合病院
21	金子 康	湘南わかば苑
22	黒澤 駿	茅ヶ崎中央病院
23	神保 匡良	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
24	村仲 隼一郎	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
25	渋谷 拓郎	えびな脳神経クリニック
26	藤崎 咲子	社会福祉法人翔の会 児童発達支援センターうーたん
27	高須 慎太郎	湘南中央病院
28	神田 崇央	医療法人徳洲会 湘南大磯病院
29	丸山 祥	湘南慶育病院
30	山根 剛	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
31	神保 洋平	湘南医療大学

(一社) 神奈川県作業療法士会 中・長期計画 2023 年度～2026 年度 一般社団法人神奈川県作業療法士会 4 か年計画

スローガン：

成長する県士会と共に『会員一人ひとりが質の高い作業療法を実践し成長しよう』

昨年から「成長する県士会」をキーワードに、学術活動、公益事業の拡大、エリア化の推進、事務局運営の効率化を進めてきた。また、当会は設立 40 周年を迎え、記念事業とし県士会ロゴマークの作成、作業療法写真展、養成校とのチャレンジ動画作成・配信、第 5 回臨床作業療法大会などを行い、会員および県民を含む周囲へ示すとともに繋がりを深めてきた。

今期ではさらに会員個々が成長する県士会に集い繋がり成長し続けることで、より質の高い作業療法が実践できるよう支援していく。定款に示す「作業療法士の学術技能の研鑽及び人格資質の陶冶に努め、併せて一般社団法人日本作業療法士協会と連携して作業療法の普及発展を図り、もって神奈川県民の保健・医療・福祉の向上に寄与する」ことを引き続き目的とする。そのためには以下の計画を具体的に進めていくとともに、組織運営を円滑かつ効率化するために組織改編を行い、県内の作業療法の実践と啓発、作業療法士の育成教育、組織力の向上との総合力をもって、神奈川県民へ貢献する。以下に各行動目標も併せ提示する。

(1) 学術・教育活動の推進と支援

会員の知識・技術・人間性の向上を目的とし学術教育活動をさらに推進していく。

社会状況が大きく変化した昨期までの経験も活かし、研修会はオンラインで開催するメリットと対面式でのメリットの両方を最大限に活用できるよう選択し実施していく。

- ① 卒後教育としての生涯教育
- ② スキルアップとしての研修会
- ③ 研究活動推進のための研究助成
- ④ 成果発表としての学会・臨床大会
- ⑤ 研究倫理委員会機能の強化
- ⑥ 地域活動の協力体制構築としての地域リハビリテーション教育
- ⑦ 作業療法士としての専門性向上と倫理教育

以上の各分野における教育体制を整備し実施していく。

また学会、臨床作業療法大会については事業マニュアルを活用し、開催状況が変化しても円滑に運営できる体制基盤を構築していく。

(2) 公益活動への取り組み拡大と支援

地域に根差した活動を行っている会員への知識・技術、ツールの提供や協力・助言など、多角的な支援体制を構築する。そのための会員データベースを強化し、人材バンク等の構築を目指す。

また行政機関や他団体と連携協業し、県民や多職種に向けた啓発活動や、医療・保健・

福祉の向上に繋がるイベントと研修会を開催していく。さらに作業療法士養成教育機関と連携・協働し、未来の作業療法士の育成にも注力する。

(3) 神奈川県エリア化

川崎市・横浜市・相模原市などの政令指定都市のほか、県域も含めたエリア化を進めエリア内の会員の繋がりをさらに構築し以下の取り組みを推進する。

- ① 当会が目的としている県民の保健・医療・福祉の向上に寄与するために地域リハビリテーション事業への参画をさらに促していく仕組みとする。
- ② 会員の専門性や特性、ホープやニーズの把握に努め会員の組織率の向上を図る。
- ③ 各エリアの協働により県内の作業療法士の質の向上を図ることも併せて行う。

(4) 法人管理体制の適正化と効率化

法人管理体制の適正化と効率化のために以下を推進していく。

- ① 事務機能の強化(事務事業に必要なハード・ソフトの充実)
- ② 継承可能な法人管理部門の体制づくりの継続
- ③ 財務システムの効率化と適正化
- ④ 予算執行に関する監視体制の強化
- ⑤ 定款・規程の整理と適正化
- ⑥ 会員情報の調査と管理
- ⑦ 会員の主たる専門分野の活用と会員への還元体制の向上
- ⑧ 公益活動の窓口機能の強化
- ⑨ 倫理機能の強化

なおこの4か年計画については半期(2年)で振り返りを行い、後期は必要に応じて振り返りを踏まえた計画修正を行い提示することとする。

永年会員および学生会員制度について

全国の OT 会員組織率低迷は大きな課題となっている。当会においても極めて重要な課題である認識から、2023 年度下期より組織率向上を目的にワーキンググループを設置し検討を重ねてきた。特に「永年会員」と「学生会員」については早急な対応が必要と考えている。以下、簡略に説明する。また、当会における両者の会員制度はいずれも新規となるため、それぞれの定款および会員規程の修正案を提案するに至った。

【永年会員】

当会の会員組織構成には永年会員がない。背景として、当会の退会者の中に所属先の定年退職に伴う帰属意識の喪失が伺える。今までの神奈川県における作業療法を推進してきたベテランの方々の喪失はあってはならないと考え、20 年以上在籍して下さった会員で、且つ、65 歳以上の方を対象とした優遇会員制度の一つとし、永年会員制度を設置したい。これからの神奈川県内における原動力を維持して頂けるよう、当会としても支援するとともに今後益々の活躍を期待したい。

【学生会員】

当会に入会して下さる会員の多くは、養成校を卒業したばかりの新規入会者が主体となっている。県内には 8 校の養成校があり、年間 200 名前後の卒業生がいることとなる。当会に帰属意識を高めて頂けるように、学生会員を設立していきたい。

当会の学生会員は、学生ならではの特典を豊富にそろえていきたいと考えている。また、当会の正会員に移行する初年度（養成校卒業翌年）は入会費も年会費も完全無料にし、今まで以上の入会を期待したい。

一般社団法人神奈川県作業療法士会 組織図改編について

近年、時代と共に一般社団法人神奈川県作業療法士会（当会）が担う事業は極めて多岐に渡ってきており、各担当部門の個々の対応だけでは的確な事業遂行が煩雑となってきた。更には、当会組織全体を互いに鑑みるための視野が狭くなりやすく、連携や協力体制の強化が求められてきた。また、当会会員管理の見直しを推進すること、および作業療法啓発に向けた人材の育成等においても益々促進できるよう機能的組織構成が求められている現状がある。このため当会の質の高い横断的な連携と効率的な実働管理を強化するため、組織体制を見直し、組織図改編の準備を進めてきた。

具体的に、法人を管理するための「法人管理運営部門」と、実働組織として管理するための「公益管理事業部門」に分け、機能性をもった組織体制が検討された。「法人管理運営部門」には事務局機能を軸に法人管理に関連する部門や委員会の設置をする。「公益管理事業部門」には、実働事業部門として学術部、教育部、制度対策部、地域社会振興部、広報部、エリア連携部を設置する（図1）。

更に、当会の副会長は6つの公益管理事業部門がスムーズな連携が図れるよう、監督者および相談役を担うこととする。また、副会長の業務負担軽減のため、現在の2名から3名体制に変更することを検討している。

当会は、2025年度より本新組織図に則った体制に改編する準備を進めている。そのため、2024年度はその移行準備期間を含めた各事業遂行の予定としている。

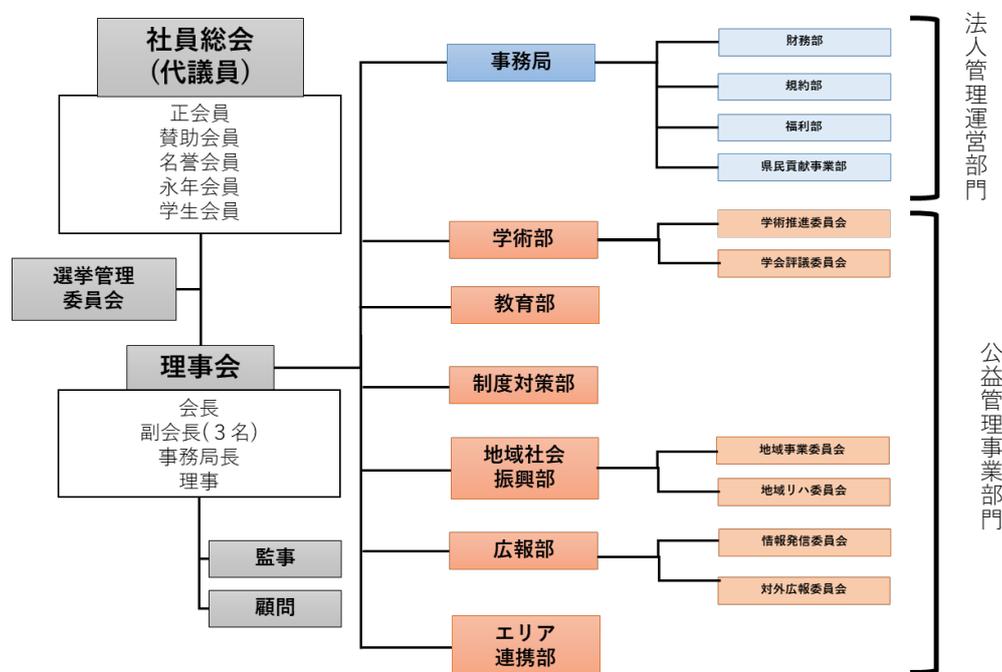


図1. 新組織図体制（案）

決議事項

第1号議案 2023年度（令和5年度）事業報告

事務局

事務局長 玖島弘規

1. 総会の運営

(1) 第10回社員総会

2023年5月14日（日）10:00～11:35

会場：神奈川県横浜市中区寿町1-4 神奈川県立かながわ労働プラザ

2023年5月14日現在の代議員総数76名

出席代議員数35名、議決権行使書14名、委任状数26名、議決権の総数75名

第1～8号議案を成立

2. 三役会・理事会の開催及び運営：三役会13回、理事会9回 計22回

(1) 三役会 臨時 2023年5月14日（日）

第1回 2023年6月6日（火）

第2回 2023年7月4日（火）

第3回 2023年8月8日（火）

第4回 2023年9月5日（木）

第5回 2023年10月3日（火）

第6回 2023年11月7日（火）

第7回 2023年12月5日（火）

第8回 2024年1月9日（火）

第9回 2024年2月6日（火）

臨時 2024年2月19日（月）

第10回 2024年3月5日（火）

第11回 2024年4月2日（火）

(2) 理事会 臨時 2023年5月14日（日）

第1回 2023年6月15日（木）*

第2回 2023年7月20日（木）

第3回 2023年9月16日（土）*

第4回 2023年11月16日（木）

第5回 2023年12月22日（金）*

第6回 2024年1月18日（木）

第7回 2024年2月15日（木）*

第8回 2024年4月18日（水）

*は対面とオンラインのハイブリット開催とした。

3. 会員に対する業務・会員の管理に関すること

- (1) 2023 年度入会者：正会員 114 名
賛助会員 A 2 名 賛助会員 B 2 社 賛助会員 C 0 名
2023 年度正会員総数：2275 名
- (2) 問い合わせ・郵便物対応
会員からの問い合わせ：149 件(メール)
引き落とし口座、会員履歴証明証、領収証、その他について問い合わせ
非会員からの問い合わせ：7 件 (メール)
郵便收受：976 通
- (3) 会員増への取り組み
関東圏養成校へ県士会ニュース・学術誌配布し広報を実施
入会・退会・変更等の窓口の整理とホームページの更新
- (4) 入会・退会・変更会員情報の管理と手続き
- (5) 日本作業療法士協会との会員情報の連携

4. 関連団体に対する窓口業務

- (1) 介護認定審査会や自立支援法等に関する窓口
県内 7 市町村（横浜市、川崎市、相模原市、厚木市、小田原市、平塚市、湯河原町）より依頼あり
- (2) 地域ケア会議への参加に関する窓口
県内 3 市町村（逗子市、藤沢市、横須賀市）
- (3) 日本作業療法士協会
情報周知ならびに表彰事業、各部会・委員会等の参加に関する窓口
- (4) 神奈川県
情報周知ならびに各部会・委員会・ワーキンググループ等の参加に関する窓口
- (5) 神奈川県精神障害スポーツ大会実行委員会に関する窓口
- (6) 神奈川県病院協会事業に関する窓口
- (7) 神奈川県理学療法士会事業に関する窓口
- (8) 各団体後援名義使用に関する窓口
- (9) 各団体表彰に関する窓口
- (10) その他各団体事業への協業等に関する窓口

5. 文書・資料等の管理と発行

- (1) 公文書発行：第 2221 号～第 2403 号 計 812 通

6. 資産の維持・管理に関すること

7. 事務局機能の強化

- (1) 全国公益法人協会との契約（専門家の導入）
税制対応、経理業務の適正化、定款・規程に関する専門家への相談を目的に全国公益法人協会と契約。事務局機能の適正化及び強化を実施。
- (2) ノートパソコンの更新購入、その他事務局備品の更新購入

8. 県士会部・委員会との連携・協力体制の構築

- (1) ワーキンググループ連携(組織改編/選挙/会員モデル)

(2) その他 メールや電話にて適宜県士会部署との連携・協業

9. 局内連携と協業

(1) 事務局部員との連携協業

事務局会議：年間事業計画の確認、局員の役割確認、事業の振り返りなど

その他：書類確認、理事会内メール連絡、ホームページ研修会掲載などを分業

(2) 事務局員との連携

メール・電話・事務局訪問による事務局員との連携協業

定期的な事務局訪問と面談を実施し作業課題の抽出と解消、業務リスト化を推進

財務部

部長 望月 強併

1. 収入及び支出の管理

(1) 決算書作成

(2) 予算案編成

(3) 監査実施

中間監査：2023年10月8日 期末監査：2024年4月6日

(4) 各部門会計処理方法を毎月確認

(5) 円滑な会費納入支援

2. 財務管理体制に関する検討

(1) 財務管理システム変更の検討継続

(2) 財務状況の把握と調査

(3) 財務基盤の整備と強靱化についての検討(他部署と連携調整など)

(4) 財務関連知識・技術と体制の更新

(5) 会計マニュアルの更新(適宜)

3. 三役、監事、関係部署との連携(会議への出席、相談・支援等)

(1) 事務局：財務状況の詳細把握、書類・マニュアルの整理・更新

(2) 三役：次年度予算案についての検討、財務状況に関する調査報告

(3) 臨床作業療法大会：臨床作業療法大会の財務に関する助言・支援

(4) 学会実行委員会：学会の財務に関する助言・支援

(5) その他各部署への財務に関する助言・支援

(6) 部長、会計担当者に対する会計説明会の実施

4. 部内会議(適宜実施)

5. その他財務に関すること

学術部

部長 佐々木秀一

1. スキルアップ研修事業(全11回の研修会開催)

(10回の研修会はオンラインツールの「zoom」を使用し、1回は対面にてスプリント実技の研修会を実施した。また、参加申込に関してはオンライン決済システム「Peatix」を使用し実施した。Peatix登録者：691名)

(1) テーマ：身体障害領域の作業療法士に必要な臨床思考過程

- ICU・SCUの急性期から回復期までの経験から -

日時：2023年7月2日 10:00-11:30 対面・Zoom研修(ハイブリッド)

講師：中井 琢哉 OTR(北里大学病院)

県内会員：16名、県内新入会員：17名、県外士会員：11名、県外非会員：2名
学生：2名 合計：48名

(2) テーマ：動機づけ面接から学ぶ クライアント中心の面接技法のエッセンス

日時：2023年7月2日 13:30-16:30 Zoom研修

講師：澤山 透 Dr(相模ヶ丘病院)

県内会員：14名、県内非会員：1名、県外士会員：10名、
OT以外の他職種：2名 合計：27名

(3) テーマ：作業療法の目標設定と臨床推論

日時：2023年9月19日 18:30-20:00 Zoom研修

講師：藤本 一博 OTR(茅ヶ崎新北陵病院)

県内会員：40名、県外士会員：31名、県内非会員：1名、学生：2名
合計：74名

(4) テーマ：「国際生活機能分類(ICF)コアセットの活用」

- 伝わる・役立つ・求められる精神科作業療法に向けて -

日時：2023年9月24日 13:30-16:30 Zoom研修

講師：村井 千賀 OTR(石川県立こころの病院)

塩田 繁人 OTR(広島大学病院)

県内会員：25名、県内非会員：1名、県外士会員：12名、
OT以外の他職種：2名 合計：40名

(5) テーマ：脳卒中患者の作業療法 脳画像から読み解く高次脳機能障害

- 症例検討から介入方法を考えよう -

日時：2023年11月12日 10:00-11:30 Zoom研修

講師：渡部 喬之 OTR(昭和大学横浜市北部病院)

県内会員：34名、県外士会員：43名、県内非会員：1名 合計：78名

(6) テーマ：子どもの運筆支援における作業療法

日時：2023年12月10日 13:00-14:30 Zoom研修

講師：牛腸 昌利 OTR(国際医療福祉大学)

県内会員：38名、県内非会員：1名、県外士会員：11名、県外非会員：1名、

- OT 以外：1 名，学生：3 名 合計：55 名
- (7) テーマ：「作業機能障害や STOD」を学び
(Screening Tool for the classification of Occupational Dysfunction) 新たな精神科作業療法の実践に役立てよう！！
日時：2023 年 12 月 17 日 13:30-16:30 Zoom 研修
講師：清家 庸佑 OTR (東京工科大学)
県内会員：18 名，県内非会員：2 名，県外士会員：34 名，
OT 以外の他職種：1 名 合計：55 名
- (8) テーマ：作業療法士が知りたい就労支援のすすめ方 - 復職支援を中心に -
日時：2024 年 1 月 21 日 10:00-11:30 Zoom 研修
講師：西 則彦 OTR (横浜市総合リハビリテーションセンター)
県内会員：13 名，県外士会員：24 名，県内非会員：1 名，
OT 以外の他職種：1 名，学生：1 名 合計：40 名
- (9) テーマ：スプリント実践セミナー
- コックアップスプリントとサムスパイカを作成しよう -
日時：2024 年 2 月 18 日 13:00-16:30 対面研修
講師：成田 大地 OTR (相模原協同病院)
佐々木 秀一 OTR (北里大学病院)
県内会員：13 名，県外士会員：12 名 合計：25 名/定員 25 名
- (10) テーマ：SCIT (社会認知および対人関係のトレーニング) 認知リハを学ぼう
日時：2024 年 2 月 25 日 13:00-16:30 Zoom 研修
講師：芳賀 大輔 OTR (ONEMORE)
県内会員：15 名，県内非会員：4 名，県外 OT：41 名，OT 以外：6 名
合計：66 名
- (11) テーマ：研究のはじめの一步 (第 4 弾)
- 忙しい臨床の中でデータを測定し蓄積する方法 -
日時：2024 年 3 月 8 日 19:30~21:00 Zoom 研修
講師：南里 佑太 RPT (北里大学病院)
県内会員：23 名，県外会員：17 名，北陸 4 県 OT・PT：27 名，学生：3 名，
PT：52 名 合計：122 名

2. 学術誌刊行事業

『神奈川作業療法研究 The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research 2023 Vol.14』を電子ジャーナル「J-stage」で発刊した。公開済み論文は研究論文 1 本，査読中論文は研究論文 1 本、事例報告 3 本である。昨年度より論文の速報性を高めることと学術誌の保存上の便宜を図る目的で、「科学技術情報発信・流通総合システム (J-STAGE)」上での電子媒体 (PDF 形式) による論文掲載へ移行した。また，投稿および査読について，オンライン投稿・査読システムの「Editorial Manager (株式会社アトラス)」を導入し，投稿者の利便性，編集委員および査読者の省力化を図った。会員へ投稿方法、論文の閲覧方法について，適宜案内を行った。

3. 研究助成事業

2023年度は、研究Ⅰ（研究組織2人以上の一般会員）に対して2課題、研究Ⅱ（免許取得後7年目までの若手会員）に対して1課題の申請があり、書類審査、合議審査を行った結果、以下の3課題を承認した。

(1) 研究Ⅰ

研究代表者 駒場 一貴氏 昭和大学藤が丘病院

「本邦の集中治療センターにおける作業療法教育に関する実態調査」

助成金額：129,980円

(2) 研究Ⅰ

研究代表者 甲本 夏穂氏 国際医療福祉大学

「出産・育児を経験した作業療法士が抱く「作業療法士観」構築の相互関係」

助成金額：127,860円

(3) 研究Ⅱ

研究代表者 渡邊 大貴氏 昭和大学藤が丘病院

「シリコンインプラントを用いた乳がん再建手術後の新規作業療法プロトコルの開発」

助成金額：118,000円

教育部

部長 神保洋平

1. 研修会開催報告

(1) 現職者共通研修；全10テーマ開催 参加者合計 270名

1) 2023年10月22日（日）オンライン開催 計117名参加

「作業療法生涯教育概論」 講師 奥原孝幸氏 参加者 31名

「日本と世界の作業療法の動向」 講師 猿爪優輝氏 参加者 31名

「実践のための作業療法研究」 講師 青木啓一郎氏 参加者 27名

「事例報告と事例研究」 講師 神保洋平氏 参加者 28名

2) 2023年11月26日（日）オンライン開催 計153名参加

「職業倫理」 講師 野本義則氏 参加者 38名

「作業療法の可能性」 講師 錠内広之氏 参加者 41名

「保健・医療・福祉と地域支援」 講師 田中ゆかり氏 参加者 38名

「作業療法における協業・後輩育成」 講師 岩上さやか氏 参加者 36名

3) 2024年2月4日（日）オンライン開催 計82名

「事例検討」 参加者名 40名

「事例報告」 参加者名 42名

*事例報告会として開催

(2) 現職者選択研修；2領域開催（MTDLP基礎研修はPTDLP推進委員会にて開催）

参加者合計 74 名

- 1) 2024 年 1 月 14 日 (日) オンライン開催 参加者数 47 名
「身体障害の作業療法」講師 藤本一博氏・井上由貴氏・村仲隼一郎氏・新泉一美氏
- 2) 2024 年 1 月 28 日 (日) オンライン開催 参加者数 27 名
「精神障害領域の作業療法」講師 小砂哲太郎氏・水野健氏
- (3) 臨床実習指導者講習会 参加者合計 54 名
 - 1) 2023 年 11 月 18 日 (土) ～11 月 19 日 (日) オンライン開催
(事務局：神奈川県立保健福祉大学)
世話人 述べ 14 名 参加者 17 名
 - 2) 2023 年 12 月 3 日 (土) ～4 日 (日) オンライン開催
(事務局：神奈川県立保健福祉大学)
世話人 述べ 14 名 参加者 37 名
- (4) 事例報告登録制度研修会
日本作業療法士協会事例報告登録制度 (一般事例) システムが停止したため中止
- (5) 実践者向け臨床実習指導研修
 - 1) 2024 年 3 月 3 日 (日) オンライン開催 参加者 6 名
講師 神保洋平氏・小砂哲太郎氏・齋藤甚氏・篠崎雅江氏

2. 研修会受講システム関連

- 1) コロナ禍のため対面での研修会はなかったため、バーコード読み取りによる研修会受け付けは実施していない。
- 2) ポイント登録チームを編成して登録作業実施

3. 日本作業療法士協会生涯教育制度関連

- (1) 受講記録の押印、受講履歴登録などの協会関連の手続き (主に生涯教育制度改定により手帳移行関連手続き)、ウェブサイトからの質問への返信
- (2) 日本作業療法士協会教育部生涯教育制度推進担当者会議への出席 2 回

広報部

部長 金山桂

1. 日本作業療法士協会との連携

- (1) 都道府県士会広報部意見交換会への参加：開催されず
- (2) 協会・士会説明および入会促進事業への協力：2 (2) 1) 参照

2. 県士会活動に関する啓発活動

- (1) 『県士会ニュース』発行・送付
 - 1) 発行回数：年 6 回、偶数月名で発行
4 月号・8 月号・10 月号・12 月号は印刷物を送付
6 月号・2 月号は PDF 仕上げ、ウェブサイトにて公開
 - 2) 印刷部数：約 2500 部
 - 3) 送付先：会員 (賛助会員含む)、関連団体、県内養成校

- 4) 編集会議：ニュース編集班員による Slack およびメールにて適宜実施
- 5) レイアウト・印刷・発送作業の委託：高陽印刷所に継続委託
- (2) 県士会入会促進に向けた広報活動
 - 1) 養成校向け説明会：県内を中心とする養成校 5 校に実施
 - ◆神奈川県立保健福祉大学（4 年生）：2023 年 10 月 31 日〔現地訪問〕
 - ◆国際医療福祉大学（4 年生）：2024 年 2 月 8 日〔現地訪問〕
 - ◆昭和大学（4 年生）：2024 年 1 月 9 日〔現地訪問〕
 - ◆茅ヶ崎リハビリテーション専門学校（4 年生）：2024 年 3 月 2 日〔現地訪問〕
 - ◆東京医療学院大学（4 年生）：2024 年 3 月 15 日〔オンライン〕
 - 2) 職場向け説明会：各職場への説明会は実施できなかったが、神奈川県作業療法学会会場（2023 年 10 月 15 日）にて県士会入会ブースを福利部と協同で運営した

3. 作業療法に関する啓発活動

- (1) 一般県民を対象とした活動
 - 1) 「ヨコハマヒューマンテクノランド」ブース出展（横浜）：出展募集なし
 - 2) 「介護フェア in かながわ」ブース出展（横浜）：2023 年 11 月 4 日出展
内容…介護相談、自宅・施設での生活アドバイス、進路相談【来場約 150 名】
 - 3) 「介護いきいきフェア」ブース出展（川崎）：2023 年 1 月 25 日出展
内容…介護相談、作業療法紹介【来場 15 名】
 - 4) 「相模原市民桜まつり」ブース出展（相模原）：イベント中止
 - 5) 「ビックレスキューかながわ」ブース出展（県央）：イベント中止
 - 6) 「おでんナイトニッポン」ブース出展（海老名）：2022 年 11 月 18 日出展
内容…介護相談、自助具展示、作業療法紹介【来場 30 名】
 - 7) 「認知症家族介護教室」運営協力：2023 年 9 月 27 日
内容…ご家族向けの集まりでグループワークのファシリテーターを行った
【参加者 23 名】
- (2) 学生を対象とした活動
 - 1) 小・中学校における職業講話（依頼）対応：13 歳のハローワークを通じて実施
 - ◆「中学生職業講和」：2023 年 11 月 8 日川崎市立の中学 2 年生
内容…様々な職業が集まる中、医療・福祉代表として作業療法と「働く」ことについて説明した【約 30 名】
 - ◆「中学校職場見学会」：
内容…中学生が作業療法士の勤務する職場を訪問し、インタビューを通じて作業療法と「働く」ことについて説明した
2023 年 11 月 15 日川崎市立の中学 2 年生【約 8 名】2 施設で受け入れ
2024 年 2 月 26 日藤沢市立の中学 2 年生【約 15 名】1 施設で受け入れ
 - 2) 中高生のための「13 歳のハローワーク」社会人アドバイザー
 - ◆「マイナビ進学ライブ」：2023 年 7 月 11 日現地対応【来場者 14 名】
内容…ブースにて進学を検討する主に高校生に作業療法について説明した
 - 3) 作業療法に興味のある学生に対する施設見学への対応・紹介

- ◆福利部主催協力「オンライン施設見学会」：希望者なし
- ◆福利部主催協力小中学生対象「夏休みイベント」：2023年8月20日【オンライン・参加者5名】

内容…作業療法についての説明、施設紹介、自助具作り体験（ソックスエイド）

- 4) 学校対応が必要な県士会員に対する『県士会パンフレット』配布：依頼なし
- (3) 関連職種を対象とした活動
 - 1) 「神奈川県介護支援専門員研究大会」ブース出展：出展募集なし
 - 2) 「かながわりハビリテーション・ケアフォーラム」ブース出展：出展募集なし

4. 広報促進活動

- (1) ウェブサイト管理委員会とのLINE公式アカウントの管理、情報発信
 - 1) 友だち登録数：253名（2024年3月末時点）
 - 2) 配信数（最大5件/月）：4月0件、5月1件、6月0件、7月0件、8月2件、9月4件、10月0件、11月3件、12月2件、1月3件、2月1件、3月1件
- (2) 『県士会パンフレット』の改訂の検討
- (3) 行政・関連団体向けリーフレットの作成：地域リハビリテーション部と共同で実施
- (4) 県士会広報促進グッズの作製：在庫があるためグッズに関する意見交換を実施

福利部

部長 山勢健太郎

1. 作業療法士を目指す会員に対する入会促進企画

- (1) 新入会員促進媒体の作成（広報部と協力して主に広報媒体の作成を行う）
- (2) 主に小学生を対象としたオンラインでの施設見学会の開催
2023年8月20日 オンラインにて実施
参加者4人
作業療法の説明、リハビリテーション室の見学、ソックスエイドの製作体験

2. 会員交流企画

- (1) 子育て・介護時にも継続して県士会に加入できる環境の検討
- (2) 新入会員オリエンテーションの開催
2023年7月2日 IMS 横浜国際看護専門学校にて対面で実施
会員参加者16人 理事・監事14人 計30人
神奈川県作業療法士会の紹介、自己紹介、会員の相互交流を目的としたゲームを実施

3. 求人・求職の推進活動

4. 各種表彰に基づく活動

- (1) 神奈川県内における日本作業療法士協会特別表彰に該当する会員の検索

推薦の実施

- 1) 日本作業療法士協会 2022年度 特別表彰受賞 該当なし
- (2) その他行政、関連団体の表彰
- 1) 令和4年度神奈川県保健衛生表彰事務所長・知事賞 該当なし
- (3) 神奈川県作業療法士会 特別表彰及び功労表彰
- 1) 神奈川県作業療法士会 特別表彰、功労表彰者の推薦及び表彰

【功労表彰推薦者】

- 佐藤 良枝 氏 (曾我病院認知症疾患医療センター)
- 井上 亜紀子 氏 (川崎市中部基幹相談支援センター)
- 幅田 智也 氏 (北里大学医療衛生学部)
- 秋葉 祐子 氏 (横浜市脳卒中・神経脊椎センター)
- 渡邊 誠 氏 (北里大学医療衛生学部)
- 相原 陽子 氏 (平塚市民病院)
- 佐藤 拓也 氏 (新潟保護観察所)
- 大宮 幸恵 氏 (若葉会つづき病院)
- 青木 彩子 氏 (あさひの丘病院)
- 増田 郁 氏 (株式会社スタートライン)

5. 倫理問題についての対応業務

- 1) 日本作業療法士協会倫理要綱の遵守と職業倫理の徹底と日本作業療法士協会との連携強化。2023年度の倫理相談窓口への相談 1件

地域リハビリテーション部

部長 遠藤陵晃

1. 研修担当

以下の研修会等を開催。

研修会名	講師	開催日	会場	参加数
第12回多職種精神保健福祉セミナー「長期入院患者様が退院するまで～実体験からの声～」 (OT・PSW 合同研修会)	西浦淳一郎氏 今道結菜氏 (PSW) 安田和代氏 (当事者)	1/13	オンライン開催	14名
子どもの作業を評価しよう！ 発達OTのためのガイドマップ	中村拓人氏	2/11	オンライン開催	133名
難病リハビリテーション講習会	相馬裕樹氏 田中舞氏	3/9	オンライン開催	25名

セルフマネジメント×作業療法 (地域リハ人材育成研修会)	佐藤隼氏 遠藤陵晃氏	12/17	横浜 YMCA 学院 専門学校	16 名
退院した高齢者の日常生活支援～在宅で求められる、工夫のアドバイス～ (地域リハ人材育成研修会)	加納彰氏	2/4	オンライン開催	47 名
病院から退院した高齢者 (地域ミーティング)	西川航平氏	11/28	オンライン開催	65 名
アプリケーションで習慣化 (地域ミーティング)	吉原翔太氏	2/27	オンライン開催	69 名

2. 普及担当

地域リハビリテーションにおける作業療法の普及のため下記事業を実施。

- (1) OT 協会地域社会振興部地域包括ケア推進班主催の地域事業支援会議参加
開催日：2023 年 6 月 23 日、10 月 7 日～8 日、2024 年 3 月 3 日の年 3 回実施
各士会最大の 5 名の当会から選任者 2 名、聴講者 3 名の参加。
- (2) OT 協会地域社会振興部 B ブロック会議
開催日：2023 年 6 月 6 日、11 月 14 日、2024 年 3 月 12 日
地域リハ部、地域包括ケアシステム推進委員会の部員などが代表で参加
- (3) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会との情報交換、事業対応
 - ・士会から 2022～2023 年度役員を 3 名選出
 - ・行政から地域リハ三団体へ依頼した事業の窓口業務、情報交換
 - ・介護予防普及展開事業（県アドバイザー派遣）
海老名市、綾瀬市、座間市、二宮町の令和 5 年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施における通いの場への伴走支援へ同行。
他市町村へ介護予防事業の OT 派遣など実施。
- (4) 県の委託事業である市町村介護予防事業支援のための人材育成事業
- (5) 県や市町村から地域支援事業などの派遣、協力
 - ・神奈川県高齢福祉課主催市町村研修会講師
 - ・横須賀市地域ケア会議参加
 - ・藤沢市地域ケア会議派遣
など
- (6) 他の関連団体との連協、協力
 - ・建築士会
研修会運営協力を実施
- (7) 地域支援事業に作業療法士派遣啓発リーフレット検討
- (8) 地域こども事業の普及と情報収集
 - ①神奈川県作業療法学会こども班ブース設置

②日本作業療法協会主催教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換

開催日：2024年1月27日

③こどもミーティング

ミーティングで県士会内外に共有することで、作業療法士が県民に貢献していくことを目的としている。

開催日：2024年1月23日、3月11日にオンラインで開催

3. 調査担当

地域リハビリテーションに必要な事業の調査を実施する。

(1) 地域支援事業の情報収集およびその対応

県内市区町村の情報収集

(2) 地域リハビリテーション人材バンク検討(地域包括ケアシステム推進委員会共同)。

- ・地域リハビリテーション人材バンクの設立へ向けた情報収集
- ・地域包括ケアシステム推進委員会などと地域人材検討の会議実施

制度対策部

部長 澤口 勇

1. 社会保障制度対策事業

(1) 社会保障制度に関する情報収集と県士会ニュース・発信ブログによる保険情報の伝達

- 1) 県士会ニュース「保険情報コーナー」の掲載(毎号)
- 2) ブログによる情報発信、14件

(2) 日本作業療法士協会との社会保障制度対策に関する連携

(3) 制度対策に関する研修会

- 1) 3月21日「2024年度 医療・介護・障害福祉サービス等(トリプル)改定に関する情報交換会～OTに関連する箇所を重点的に～」オンライン開催 参加者24名

2. 福祉用具対策事業

(1) 福祉用具に関する会員向け研修会開催

- 1) 9月3日「知れば差がつく福祉用具セミナー ～身だしなみ編～」
講師 横浜旭中央病院 金原衣里子氏 オンライン開催、参加16名
12月9日「体験して学ぼう! OTと考える初めての屋外の移動支援」
講師 神奈川県作業療法士会制度対策部福祉用具対策班 沼田一恵氏
対面開催、参加4名

(2) 福祉用具に関する情報提供、相談支援

- 1) 福祉用具相談支援システム・生活行為工夫情報システム
啓発内容のブログ発信 月2回のペースで発信
12月23日 OT協会主催会議への出席

(3) 他団体からの要請に対し、福祉用具関連講師の派遣

- 1) 国際福祉機器展 福祉用具相談ブースへの人員派遣実施 のべ3名派遣する。
- (4) 班会議開催
事業進捗に合わせメール会議を適宜開催した。

3. 災害対策事業

- (1) 災害対策に関する情報の収集と発信
 - 1) WEBサイトによる災害関連情報発信 6件
 - 2) 県士会ニュースへの記事掲載 0件
- (2) 日本作業療法士協会との災害対策に関わる連携
 - 1) 日本作業療法士協会と連携した災害時安否確認システム訓練運用への参加協力
9月25日 11時発災として実施。
 - 2) 日本作業療法士協会主催 2023年度災害支援研修会に出席
開催日時：12月10日13時30分～17時00分
場所：オンライン開催（ZOOM）
講師：日本作業療法士協会地域社会復興部 災害対策課
- (3) 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）および県内他団体との連携、県士会の窓口として機能。
 - 1) 第12回災害対策研修会（第1回PTOTST合同災害対策研修会）参加
開催日時：2024年1月20日 10時00分～13時30分
場所：横浜水道会館
テーマ：神奈川県における災害時の福祉支援体制について
災害時のリハビリテーション支援について
講師：神奈川県福祉子どもみらい局福祉部地域福祉課地域福祉グループ
副主幹 岩下記久様
PT士会：下田栄次先生
OT士会：西則彦先生
ST士会：船橋庄司先生
OT参加者：講師（西則彦先生）含めて8名
- (4) 会員被災状況確認のシステムの運用
 - 1) 県士会安否確認システムの訓練運用 9月25日（上記、日本作業療法士協会災害訓練と同時に実施）
10月25日（1か月後）の安否報告数50件（昨年157件）
 - 2) 県士会大規模災害時理事会行動マニュアルの訓練実施 9月25日
県士会安否確認システムの訓練運用に合わせて実施。
- (5) 班会議開催
事業進捗に合わせメール会議やウェブ会議を適宜開催した。
ウェブ会議を年4回実施（8/30、10/23、11/28、2/19）

4. 自動車運転と作業療法に関する事業

- (1) 自動車運転と作業療法に関する情報収集と発信
 - 1) ウェブサイトによる情報発信 3件
 - 2) 県士会ニュースへの記事掲載 4件

- (2) 自動車運転と作業療法に関する研修会実施
- 1) 12月3日「OTが知っておくべき道路交通法・臨時適正検査」
オンライン開催 講師：神奈川県警察本部交通部運転免許本部運転教育課
坂本警部補、OT 白岩淑子 参加 17名
 - 2) 2月24日「外来での運転支援・実車評価に関して」
講師：自動車運転班 OT 渡辺謙斗、OT 渡邊隼人 参加 3名
- (3) 自動車運転と作業療法に関する他団体及びOT協会との連携
- 1) 神奈川県警との情報交換会と連携
道交法改正に関する研修会開催となる。
今後も年1回の研修会開催を中心に連携する。
5. 部会の開催
- (1) 制度対策部班長会議実施 オンライン開催 2回開催
その他メール及びオンラインを用いて適宜情報交換を実施。

規約委員会

委員長 神田崇央

1. 定款、諸規則・規程の管理及び制定、変更、修正等の検討
引き続き、定款及び諸規則・規程の一部改訂及び管理を行った。
2. 公益社団法人取得に向けての準備
公益社団法人に関する情報収集を実施した。
3. 実務レベルでのマニュアルの整備
一部の部署でマニュアル作成を促すことができた。

ウェブサイト管理委員会

委員長 佐藤範明

1. 県士会サイトの管理とアクセス件数 ※2024年3.31現在

	更新件数				アクセス件数		
	総件数	講習会	求人情報	その他	全ページの 総プレビュー数	1日あたりの プレビュー数	カウンター
2023/04	51	25	10	16	159,243	5308	2,966
05	55	33	13	9	160,080	5163	2,647
06	72	39	16	17	165,062	5502	2,716
07	45	30	8	7	162,900	5254	2,642
08	71	36	15	20	148,632	4794	2,979
09	60	45	9	6	151,254	5041	2,945

	10	57	34	13	10	159,349	5140	3,416
	11	61	43	11	7	142,045	4734	2,722
	12	57	42	11	4	148,970	4805	2,438
	2024/01	64	41	12	11	167,452	5401	2,634
	02	38	21	9	8	160,248	5525	2,503
	03	32	25	7	0	188,782	6089	2,540
	合計 月平均	57	35	12	10	156,840	5,149	2,783

2. 新着メールマガジン「kanaからの手紙」の発信

登録者数：298名(前年より+22)、発行数：99件 ※2024年3.31時点

3. SNSメディアに関して(X(旧Twitter)・Facebook・YouTube・Instagram)

X(旧Twitter)フォロワー：402名(前年より+26)、開設からの総ポスト数14,579

Facebookフォロワー：311名(前年より+8)

YouTube登録者：21名(前年より+3) 動画数14本 総再生数3108回(前年より+1109)

Instagramフォロワー：93名(前年より+65)

※いずれも※2024年3.31時点

4. 県士会サイトの広報に関して

4月：220号 Instagram(インスタグラム)開設しました！！

絵本でみる作業療法の10のヒミツ(ショートコラム)開始：第2回

6月：221号 ウェブサイト管理委員会 県士会サイト スペシャルコンテンツ紹介

スペシャルコンテンツ「作業療法の魅力を語る」

絵本でみる作業療法の10のヒミツ(ショートコラム)開始：第3回

8月：222号 ウェブサイト管理委員会 県士会サイト スペシャルコンテンツ紹介

スペシャルコンテンツ「作業療法お役立ちコンテンツ」

絵本でみる作業療法の10のヒミツ(ショートコラム)開始：第4回

10月：223号 ウェブサイト管理委員会 県士会サイト 研修会情報・求人情報案内

絵本でみる作業療法の10のヒミツ(ショートコラム)開始：第5回

リーフレットにて、Instagram案内を周知

12月：224号 ウェブサイト管理委員会 県士会サイト スペシャルコンテンツ紹介

「スペシャルコンテンツ」【作業療法あるあるネタ】

絵本でみる作業療法の10のヒミツ(ショートコラム)開始：第6回

2月：225号 ウェブサイト管理委員会 県士会サイト スペシャルコンテンツ紹介

「スペシャルコンテンツ」【マンガでわかる はじめての学会発表】

絵本でみる作業療法の10のヒミツ(ショートコラム)開始：第7回

5. 委員会運営会議 開催2回

2023年9月20日(水) 19時00分～21時15分

2024年3月21日(木) 19時30分～21時30分

6. メール会議

2023年4月～2024年3月末までにメーリングリストにて132通実施。

学会評議委員会

委員長 青木啓一郎

1. 神奈川県作業療法学会および臨床作業療法大会の運営マニュアルの完成

2. 演題登録システム Confit3 ヶ年導入

3. 第19回神奈川県作業療法学会の実行委員会支援

開催日時と方法:ハイブリッド開催

2023年10月15日:茅ヶ崎市民文化会館

2023年10月15日～11月9日:オンライン開催

学会長:藤本一博(茅ヶ崎北陵病院)

テーマ:ダイバシティ&インクルージョン

登録者:604名(会員439、非会員165)

4. 第6回神奈川県臨床作業療法大会の実行委員会支援と進捗状況

開催日時と方法:2024年12月8日 国際医療福祉大学 小田原キャンパス(予定)
(対面開催のみ)

大会長:木村達(鶴巻温泉病院)

テーマ:Communication

プログラム:

- ・基調講演・シンポジウム…目標設定に関連する演題を予定(曾我病院 佐藤良枝氏に依頼を検討中)
- ・一般演題発表…ポスター、口述合わせて20～30演題程度を予定
- ・企画ブース…内容検討中

5. 第20回神奈川県作業療法学会の実行委員会支援と進捗状況

開催日時と方法:検討中

学会長:中西理佐子(横浜南共済病院)

6. 第7回神奈川県臨床作業療法大会の大会長の選出の検討

公益法人化対策委員会

委員長 野本義則

1. 部会の開催

- ・ZOOMによる会議1回、適宜メールによる意見交換を行った。

2. 公益法人化準備事業

- ・今年度は、本会が公益化を直ちに行うかどうかの検討を行った。
- ・理事に対する公益化の是非に関するアンケート調査(6-7月実施)

- ・公益化に際する具体的なメリット・デメリットの収集（8-9月実施）
 - 3. 公益目的事業パイロット事業**
 - ・今年度は、本会が公益化を直ちに行うかどうかの検討及び結論を出すことを目標と定め（2024年6月理事会にて確認）、それに基づき活動したため、パイロット事業は実施しなかった。
 - 4. 公益法人化に関する情報収集**
 - ・「全国公益法人協会」（法人格取得に際する支援を専門に行う団体）への情報収集を行う（10月）
 - 5. 県内外の公益事業に関する情報収集**
 - ・WEBサイトおよび法人管理担当者への情報収集を行った。
- ◎本会の公益法人化について
- 上記の通り、今年度は本会が公益化を直ちに行うかどうかの検討及び結論を出すことを目標と定め、それに基づき活動した。
- その結果、本会の公益法人取得については『一旦凍結』とし、当面は三役預かりとし、社会の状況、他団体の動向を注視し、公益法人取得に向けての議論を再開すべきと、三役が判断した際に、三役より理事会に提案する。理事が三役に提案することは妨げない」ことが確認された。

生活行為向上マネジメント推進委員会

委員長 奥原孝幸

日本作業療法士協会の活動に協調して、生活行為向上マネジメント活用の普及・推進をする。

1. 生活行為向上マネジメントの講習会を企画・開催

いずれもオンライン研修で実施

①MTDLP 基礎研修

12/10 参加者：当士会員 23名 他県士会員 2名

3/10 参加者：当士会員 32名 他県士会員 12名

2. MTDLP 事例報告会

1/21 参加者：当士会員 6名 他県士会員 1名

1/30 参加者：当士会員 1名

3. 生活行為向上マネジメント活用の協力事業所の把握

以下 6. の会員の MTDLP に関する意識調査（web アンケート調査）に含めて実施、公表は以下 6. に含めて来年度予定。

4. MTDLP の啓蒙

広報誌に生活行為向上マネジメントに関する記事を掲載し、ウェブサイトにも記事を掲載

5. 日本作業療法士協会主催の MTDLP 全国推進会議に出席

1 回開催され出席

6. 会員の MTDLP に関する意識調査 (web アンケート調査) を実施

2月～3月実施 来年度調査結果を整理、公表予定

認知症対策委員会

委員長 佐藤隼

1. 会員向け研修会の開催

(1) 認知症アップデート研修 (地域編)」

日時：2023年12月2日(土) 14:00～16:00

会場：横浜 YMCA 学院専門学校

内容：若年性認知症の人の活躍 Field

ーフェーズにマッチした「はたらく」を実現するコミュニティの共創ー

講師：山崎健一 氏 (作業療法士、GrASP 株式会社)

参加者：26名 (OT…9名、他職種…1名、一般…16名)

(2) 認知症アップデート研修 (臨床編)」

日時：2024年2月8日(木) 19:00～20:30

方法：オンライン

内容：基礎知識から作業療法で使える評価・介入まで

講師：田中寛之 氏 (作業療法士、大阪公立大学)

参加者：50名 (OT…44名、他職種…6名)

2. 認知症関連の情報収集および情報発信

(1) 世界アルツハイマーデー

アルツハイマーデー月間 (9月) に行われる県内のイベントや各地の情報を県士会ウェブサイトや公式 LINE で配信した。

(2) 「認知症の人と家族の会」刊行物

中等度・重度認知症の人の在宅生活支援ガイドブック『認知症の人と家族の暮らしを支える手引き』について県士会ウェブサイトにて配信した。

3. 認知症関連団体との協力・連携

神奈川県主催「かながわオレンジフェスタ」実行委員会に担当理事が出席し、参加する関連団体と意見交換した。

4. 部内会議 (オンライン開催)

第1回：2023年8月2日(水) 19:00～20:10

第2回：2023年9月14日(木) 19:00～20:15

第3回：2023年11月2日(木) 19:00～20:00

第4回：2024年1月17日(水) 19:00～20:00

その他メールにて確認・連絡を適宜実施。

5. その他

(1) 都道府県士会の認知症関連に関する活動報告

各士会が取り組んでいる認知症関連の活動を日本作業療法士協会ホームページ

に集約するため、当士会の活動状況を PowerPoint データにまとめて報告した。

(2) 士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会

主催：日本作業療法士協会地域社会振興部

日時：2024年1月20日（土）13：00～16：00

方法：オンライン開催

参加者：1名（担当理事）

地域包括ケアシステム推進委員会

委員長 遠藤陵晃

1. 横浜市地域リハビリテーション活動支援事業への派遣実績

- (1) 派遣希望回数：45回、
直近5年件数推移

2019年度	56回
2020年度	16回
2021年度	30回
2022年度	45回
2023年度	45回

- (2) 横浜市事務検討会への出席

1) 2023年5月25日

- ・令和4年度派遣実績振り返り／令和5年度派遣調整について
- ・共通説明資料について
- ・令和5年度フレイル予防取組について
- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について

2) 2023年10月19日

- ・フレイル予防の取組促進における民間企業等との連携について
- ・派遣調整事務のDX化について
- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について

3) 2024年2月29日

- ・令和5年度の振り返り
- ・令和6年度の派遣実施見込みについて
- ・令和6年度の検討PJの進め方について
- ・派遣調整事務のDX化について
- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について

2. 地域リハビリテーション活動支援事業に参画できる人材育成研修の実施

- ・地域リハビリテーション部主催、人材育成研修講師
- ・令和5年11月28日（火）、オンライン

3. 地域リハビリテーション活動支援事業の教育分野への啓発

- ・ 学生に限らず県士会員の人材育成に焦点化

4. 地域リハビリテーション人材バンクの設立へ向けた情報収集

- ・ 日本作業療法士協会地域包括ケア推進員会主催研修会への参加
- ・ 地域リハビリテーション部地域人材検討の会議実施

エリア化推進委員会

委員長 和田尚(委員長代理 吉本雅一)

1. 委員会の開催

2023年5月29日

2023年8月31日

2023年12月13日

2024年2月18日

2. 交流会の開催

(1) OTコネクトミーティング

会員同士が繋がれる場づくりとして計2回開催

日程	テーマ	参加者数
2023年6月22日	新人教育	18名
2024年3月14日	チームマネジメント	5名

(2) OTエリアミーティング

地域の会員同士が繋がれる場として計8回開催

日程	開催エリア	参加者数
2023年7月27日	横浜エリア	12名
2023年8月27日	県央エリア	2名
2023年9月28日	川崎エリア	6名
2023年10月27日	横須賀三浦エリア	4名
2023年11月30日	湘南東部エリア	5名
2023年12月19日	県西エリア	12名
2023年1月29日	相模原エリア	7名
2024年2月21日	湘南西部エリア	2名

(3) 代議員ミーティング

代議員同士での顔の見える関係づくりの場として計1回開催

日時：2023年12月19日 21:00～22:00

場所：オンライン

参加者：6名

3. 地域支援活動助成金事業

申請期間：令和5年10月1日～11月30日

申請団体：1件

理事会で審議の上、以下の内容で助成金支給を決定した

- ・助成対象事業のテーマ

「WheeLog! in 小田原」 車椅子街歩きイベント

- ・実施団体名

車いす街歩き実行委員会

- ・事業実施日

令和6年9月8日(日)

- ・助成額

50,000円

4. その他エリア化推進に関すること

エリア化の今後について会員、代議員、他都道府県士会会員等へのヒアリングを実施。

選挙管理委員会

委員長 池田公平

1. 役員選挙に関すること

- 1) 第10回社員総会にて令和5・6年度役員選挙の報告

立候補期間：2023年1月19日～2月19日

立候補者：理事12名，監事0名

理事会による推薦：理事6名，監事2名

2. 代議員選挙に関すること

- 1) 代議員選挙に関する運営・実施

令和6年度・7年度代議員選挙結果

立候補募集期間：2023年12月1日～12月15日（消印有効）

推薦候補募集期間：2024年1月9日～2月13日

Aブロック（横浜市・川崎市・相模原市に勤務している正会員）：46名

Bブロック（県域：政令指定都市を除く地位域に勤務している正会員）：31名

- 2) 選挙に関する振り返りの実施

ワーキンググループ・プロジェクトチーム

部や委員会の中での活動にとどまらず、県士会運営の推進力とするために、今年度も引き続きワーキンググループやプロジェクトチームを結成して、重点課題に向けた活動に取り組んだ

1. 選挙ワーキング：リーダー 奥原孝幸

<活動目的>代議員選挙、役員選挙のマニュアルの作成、規約の整備

<メンバー>吉本副会長、金山理事、奥原理事

陪席：神田理事（規約委員会）、池田選挙管理委員会委員長

<活動内容>

- (1) 代議員選挙に関するマニュアルの作成（完成に向けて）
- (2) 役員選挙と互選方法に関するマニュアルの作成（完成に向けて）
- (3) 選挙管理委員会に関する規約の整備
- (4) マニュアルに基づく役員選挙の実施と理事への実施に関するアンケート
- (5) マニュアルに基づく代議員選挙の実施
- (6) 会議日程 2023年7月9日、2024年3月4日

その他適宜メールで相談検討調整を行った

2. 会員モデルワーキング：リーダー 神保武則（会長）

<活動目的>

会員数増加を目標に、新入会者増・退会者減に向けた取り組みを行う。

現会員の会員データの分析を行い、対応・対策を検討する。

各部委員会が執行する事業活動を通して、どのようなアイデアがあるか各部より掘り起こしを行い、県士会全体としての会員増活動をマネジメントしていく。

<メンバー>山勢理事（福利部）、金山理事（広報部）、望月理事（財務部）、

神田理事（規約委員会）、神保会長、玖島事務局長（事務局）

<活動内容>

以下の内容で検討会議を4回実施、その他メールを活用

- (1) 各事業における会員増につながるアイデア（主に入会増に関して）について
- (2) 会員モデルの検討（永年会員、学生会員）
- (3) 会員区分変更に伴う定款、規程の検討：規約委員会
- (4) 会員データの分析と会員シミュレーション：事務局・財務部
- (5) 新入会員オリエンテーション実施方法について：福利部・広報部

3. 組織図改編ワーキング：

<活動目的>2025年度の組織図改編に向けた準備や構成部署の検討を行う

<メンバー>

- ・ 学術部門：奥原理事（MTDLP）、神保(洋)理事（教育部）、佐々木理事（学術部）、青木理事（学会評議）、田中副会長
- ・ 広報活動部門：佐藤(範)理事（ウェブサイト）、金山理事（広報部）、吉本副会長
- ・ 制度対策部門：澤口理事（制度対策部）、山勢理事（福利部）、田中副会長
- ・ 地域社会振興部門：遠藤理事（地域リハ部）、和田理事（エリア化）、佐藤(隼)理事（認知症対策）、西川班長（地域包括ケア）、吉本副会長
- ・ 法人管理部門：神田理事（規約）、野本理事（公益法人化）、奥原理事（MTDLP）、望月理事（財務部）、山勢理事（福利部）、玖島事務局長（事務局）、吉本副会長

<活動内容>

- (1) 部署内の事業内容の整理と課題の共有
- (2) 組織図改編に向けた構成部署の検討

第2号議案 2023年（令和5年）度決算報告ならびに監査報告

一般社団法人 神奈川県作業療法士会 令和5年度決算報告

自：令和5年4月1日 至：令和6年3月31日

収入の部

	当初予算額	補正予算額	計	決算額	備考
会費収入	17,063,000	0	17,063,000	16,978,500	
正会員会費収入	17,013,000		17,013,000	16,918,500	入会金含む
賛助会員会費収入	50,000		50,000	60,000	
研修会費収入	2,845,000	0	2,845,000	2,639,000	
制度対策部	26,000		26,000	22,500	
教育部	1,740,000		1,740,000	1,083,000	
学術部	700,000		700,000	783,000	
地域リハビリテーション部	104,000		104,000	355,500	
生活行為向上マネジメント推進委員会	225,000		225,000	309,500	
認知症対策委員会	50,000		50,000	85,500	
助成金収入	150,000	0	150,000	150,000	
地域リハビリテーション部(人材育成研修会)	150,000		150,000	150,000	
広告収入	50,000	0	50,000	51,780	
雑収入	20,000	0	20,000	102,855	
利息	0	0	0	340	
運営費取り崩し	4,243,110	0	4,243,110	0	
収入合計	24,371,110	0	24,371,110	19,922,475	

支出の部

	当初予算額	補正予算額	計	決算額	増減・残
事務局	9,399,720	0	9,399,720	8,615,140	784,580
給与手当	3,500,000		3,500,000	2,972,520	527,480
福利厚生費	31,000		31,000	69,750	▲ 38,750
会議費	390,000		390,000	275,000	115,000
旅費交通費	665,000		665,000	363,926	301,074
消耗品費	270,000		270,000	68,416	201,584
印刷製本費	131,000		131,000	165,212	▲ 34,212
修繕費	47,000		47,000	0	47,000
賃借料	1,700,000		1,700,000	1,706,700	▲ 6,700
光熱水費	240,000		240,000	205,014	34,986
広告宣伝費	0		0	39,600	▲ 39,600
渉外費	70,000		70,000	93,280	▲ 23,280
通信運搬費	1,381,720		1,381,720	704,466	677,254
委託費	804,000		804,000	1,226,519	▲ 422,519
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	10,000	▲ 10,000
消耗備品費	60,000		60,000	0	60,000
備品費	0		0	0	0
その他活動費	0		0	207,445	▲ 207,445
支払手数料	50,000		50,000	331,793	▲ 281,793
雑費	60,000		60,000	58,849	1,151
保険料	0		0	0	0
租税公課	0		0	0	0
寄付金	0		0	116,650	▲ 116,650

財務部	43,000	0	43,000	13,320	29,680
福利厚生費	0		0	1,600	▲ 1,600
会議費	19,500		19,500	8,000	11,500
旅費交通費	12,000		12,000	2,680	9,320
消耗品費	6,000		6,000	0	6,000
印刷製本費	0		0	0	0
賃借料	0		0	0	0
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	4,500		4,500	1,040	3,460
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
支払手数料	1,000		1,000	0	1,000
雑費	0		0	0	0
学術部	1,207,300	0	1,207,300	1,005,150	202,150
福利厚生費	16,800		16,800	38,177	▲ 21,377
会議費	171,200		171,200	196,000	▲ 24,800
旅費交通費	97,000		97,000	33,540	63,460
消耗品費	55,000		55,000	4,000	51,000
印刷製本費	127,000		127,000	69,836	57,164
賃借料	60,000		60,000	53,520	6,480
渉外費	0		0	3,234	▲ 3,234
通信運搬費	55,100		55,100	9,617	45,483
委託費	265,200		265,200	322,537	▲ 57,337
諸謝金	345,000		345,000	259,750	85,250
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払手数料	15,000		15,000	14,829	171
雑費	0		0	110	▲ 110
教育部	1,697,500	0	1,697,500	996,850	700,650
福利厚生費	97,200		97,200	52,800	44,400
会議費	88,800		88,800	66,400	22,400
旅費交通費	174,500		174,500	2,520	171,980
消耗品費	11,000		11,000	252	10,748
印刷製本費	60,000		60,000	0	60,000
賃借料	210,000		210,000	0	210,000
渉外費	6,000		6,000	0	6,000
通信運搬費	38,000		38,000	10,728	27,272
委託費	0		0	0	0
諸謝金	1,010,000		1,010,000	783,968	226,032
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払手数料	2,000		2,000	80,182	▲ 78,182
雑費	0		0	0	0
広報部	2,936,900	0	2,936,900	2,641,128	295,772
福利厚生費	0		0	19,200	▲ 19,200
会議費	121,600		121,600	51,200	70,400
旅費交通費	86,000		86,000	28,740	57,260
消耗品費	25,000		25,000	0	25,000
印刷製本費	1,313,000		1,313,000	967,559	345,441
賃借料	80,000		80,000	0	80,000
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	1,239,500		1,239,500	1,543,189	▲ 303,689
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	22,000	▲ 22,000
消耗備品費	50,000		50,000	0	50,000
備品費	3,000		3,000	0	3,000
支払手数料	8,000		8,000	9,240	▲ 1,240
雑費	10,800		10,800	0	10,800

福利部	207,000	0	207,000	42,655	164,345
福利厚生費	0	0	0	800	▲ 800
会議費	63,200	63,200	12,800	50,400	
旅費交通費	16,000	16,000	26,640	▲ 10,640	
消耗品費	0	0	0	0	
印刷製本費	11,000	11,000	0	11,000	
賃借料	0	0	0	0	
渉外費	93,000	93,000	0	93,000	
通信運搬費	0	0	2,305	▲ 2,305	
委託費	0	0	0	0	
諸謝金	11,500	11,500	0	11,500	
負担金	0	0	0	0	
消耗備品費	0	0	0	0	
備品費	0	0	0	0	
支払手数料	4,000	4,000	110	3,890	
雑費	8,300	8,300	0	8,300	
地域リハビリテーション部	955,000	0	955,000	489,057	465,943
福利厚生費	89,000	89,000	58,600	30,400	
会議費	207,800	207,800	168,200	39,600	
旅費交通費	160,000	160,000	20,740	139,260	
消耗品費	24,000	24,000	27,470	▲ 3,470	
印刷製本費	119,000	119,000	81,270	37,730	
賃借料	134,000	134,000	10,000	124,000	
渉外費	23,000	23,000	500	22,500	
通信運搬費	28,500	28,500	23,884	4,616	
委託費	0	0	0	0	
諸謝金	160,400	160,400	93,425	66,975	
負担金	1,400	1,400	0	1,400	
消耗備品費	0	0	0	0	
備品費	0	0	0	0	
支払手数料	7,900	7,900	4,968	2,932	
雑費	0	0	0	0	
制度対策部	507,980	0	507,980	159,147	348,833
福利厚生費	4,000	4,000	27,756	▲ 23,756	
会議費	100,000	100,000	45,600	54,400	
旅費交通費	87,000	87,000	34,450	52,550	
消耗品費	20,900	20,900	351	20,549	
印刷製本費	28,500	28,500	0	28,500	
賃借料	40,000	40,000	0	40,000	
渉外費	30,000	30,000	21,402	8,598	
通信運搬費	31,380	31,380	5,103	26,277	
委託費	0	0	0	0	
諸謝金	160,000	160,000	23,000	137,000	
負担金	0	0	0	0	
消耗備品費	1,000	1,000	220	780	
備品費	2,000	2,000	0	2,000	
支払手数料	3,200	3,200	1,265	1,935	
雑費	0	0	0	0	
規約委員会	125,240	0	125,240	7,440	117,800
福利厚生費	0	0	0	0	
会議費	19,200	19,200	6,400	12,800	
旅費交通費	3,000	3,000	0	3,000	
消耗品費	0	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	0	
賃借料	2,000	2,000	0	2,000	
渉外費	0	0	0	0	
通信運搬費	1,040	1,040	1,040	0	
委託費	100,000	100,000	0	100,000	
諸謝金	0	0	0	0	
負担金	0	0	0	0	
消耗備品費	0	0	0	0	
備品費	0	0	0	0	
支払手数料	0	0	0	0	
雑費	0	0	0	0	
ウェブサイト管理委員会	225,640	0	225,640	20,217	205,423
福利厚生費	0	0	0	0	
会議費	21,600	21,600	13,600	8,000	
旅費交通費	0	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	0	
印刷製本費	8,000	8,000	5,577	2,423	
賃借料	0	0	0	0	
渉外費	0	0	0	0	
通信運搬費	181,040	181,040	1,040	180,000	
委託費	0	0	0	0	
諸謝金	0	0	0	0	
負担金	0	0	0	0	
消耗備品費	15,000	15,000	0	15,000	
備品費	0	0	0	0	
支払手数料	0	0	0	0	
雑費	0	0	0	0	

学会評議委員会	107,120	0	107,120	70,015	37,105
福利厚生費	0	0	0	0	0
会議費	80,000	0	80,000	52,000	28,000
旅費交通費	7,500	0	7,500	6,070	1,430
消耗品費	3,000	0	3,000	0	3,000
印刷製本費	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0	0
通信運搬費	16,620	0	16,620	8,370	8,250
委託費	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0
負担金	0	0	0	0	0
消耗備品費	0	0	0	0	0
備品費	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	0	3,575	▲ 3,575
雑費	0	0	0	0	0
選挙管理委員会	148,000	0	148,000	48,595	99,405
福利厚生費	0	0	0	0	0
会議費	20,000	0	20,000	800	19,200
旅費交通費	30,540	0	30,540	1,660	28,880
消耗品費	0	0	0	0	0
印刷製本費	77,460	0	77,460	45,095	32,365
賃借料	0	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0	0
通信運搬費	20,000	0	20,000	1,040	18,960
委託費	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0
負担金	0	0	0	0	0
消耗備品費	0	0	0	0	0
備品費	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0
公益法人化対策委員会	251,100	0	251,100	13,150	237,950
福利厚生費	8,000	0	8,000	0	8,000
会議費	105,600	0	105,600	12,000	93,600
旅費交通費	15,000	0	15,000	0	15,000
消耗品費	0	0	0	0	0
印刷製本費	14,000	0	14,000	0	14,000
賃借料	0	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0	0
通信運搬費	11,500	0	11,500	1,040	10,460
委託費	45,000	0	45,000	0	45,000
諸謝金	52,000	0	52,000	0	52,000
負担金	0	0	0	0	0
消耗備品費	0	0	0	0	0
備品費	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	0	110	▲ 110
雑費	0	0	0	0	0
生活行為向上マネジメント推進委員会	180,000	325,000	505,000	271,710	233,290
福利厚生費	0	20,000	20,000	17,600	2,400
会議費	45,600	16,000	61,600	44,800	44,000
旅費交通費	0	10,000	10,000	7,980	2,020
消耗品費	2,000	10,000	12,000	0	12,000
印刷製本費	3,000	9,000	12,000	0	12,000
賃借料	0	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0	0
通信運搬費	6,000	5,000	11,000	0	11,000
委託費	0	0	0	0	0
諸謝金	120,000	250,000	370,000	195,500	174,500
負担金	0	0	0	0	0
消耗備品費	0	0	0	0	0
備品費	0	0	0	0	0
支払手数料	2,000	5,000	7,000	5,830	1,170
雑費	1,400	0	1,400	0	1,400
認知症対策委員会	195,400	0	195,400	61,840	133,560
福利厚生費	38,400	0	38,400	5,600	32,800
会議費	24,000	0	24,000	11,200	12,800
旅費交通費	72,000	0	72,000	3,480	68,520
消耗品費	0	0	0	0	0
印刷製本費	10,000	0	10,000	1,000	9,000
賃借料	0	0	0	5,000	▲ 5,000
渉外費	3,000	0	3,000	0	3,000
通信運搬費	0	0	0	2,080	▲ 2,080
委託費	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	32,600	▲ 32,600
負担金	5,000	0	5,000	0	5,000
消耗備品費	10,000	0	10,000	0	10,000
備品費	10,000	0	10,000	0	10,000
支払手数料	10,000	0	10,000	880	9,120
雑費	13,000	0	13,000	0	13,000

地域包括ケアシステム推進委員会	58,300	0	58,300	2,400	55,900
福利厚生費	0		0		0
会議費	36,800		36,800	2,400	34,400
旅費交通費	8,000		8,000		8,000
消耗品費	0		0		0
印刷製本費	12,000		12,000		12,000
賃借料	0		0		0
渉外費	0		0		0
通信運搬費	1,500		1,500		1,500
委託費	0		0		0
諸謝金	0		0		0
負担金	0		0		0
消耗備品費	0		0		0
備品費	0		0		0
支払手数料	0		0		0
雑費	0		0		0
エリア化推進委員会	155,200	0	155,200	120,860	34,340
福利厚生費	68,000		68,000	45,600	22,400
会議費	26,400		26,400	20,000	6,400
旅費交通費	10,500		10,500	1,800	8,700
消耗品費	0		0		0
印刷製本費	7,000		7,000		7,000
賃借料	0		0		0
渉外費	0		0		0
通信運搬費	10,300		10,300	1,040	9,260
委託費	0		0		0
諸謝金	0		0		0
負担金	0		0		0
消耗備品費	3,000		3,000		3,000
備品費	0		0		0
支払手数料	0		0	2,420	▲ 2,420
雑費	30,000		30,000	50,000	▲ 20,000
助成金	400,000	0	400,000	313,285	86,715
研究助成	400,000	0	400,000	313,285	86,715
神奈川県作業療法学会実行委員会	3,006,544	0	3,006,544	1,946,350	1,060,194
開催年、会場費50万円＋運営費110万円	3,006,544	0	3,006,544	1,946,350	1,060,194
臨床作業療法大会実行委員会	900,000	0	900,000	286,770	613,230
準備年、会場費40万円＋運営費50万円	900,000	0	900,000	286,770	613,230
他団体会費	70,710	0	70,710	0	70,710
神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会	70,710	0	70,710	0	70,710
活動費合計	22,777,654	325,000	23,102,654	17,125,079	5,977,575
積立金	2,000,000	0	2,000,000	2,000,000	0
事務局積立・設備投資・システム更新など	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0
県学会・臨床大会積立・会場の契約前金・50周年積立など	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0
予備費(補正予算分)	1,000,000		1,000,000	0	1,000,000
次期繰越金					
支出合計	25,777,654	325,000	26,102,654	19,125,079	

一般社団法人 神奈川県作業療法士会 監査報告

令和6年4月6日

監事 錠内 広之



監事 野々垣 睦美



私たちは、令和6年4月6日に一般社団法人神奈川県作業療法士会の監査を行いました。監査にあたっては、各部委員会の活動報告、決算書、出納帳簿、領収書、通帳を確認しました。

監査の結果、本会の活動並びに収支がおおむね健全に遂行されていると認めます。しかし、下記の点に関して改善を検討することをお願いします。

記

- ・出納帳の領収書番号と実際の領収書の番号が合致していないものがありました。また領収書番号の記載がないものも散見されました。提出前に確認してください。
- ・議事録に記載されている参加者数と会議費の支払金額が一致していません。提出前に再確認してください。
- ・通帳残高と決算書の残高合計が合わないものがありました。監査の直前だけではなく残高について定期的に確認してください。
- ・銀行振込を行う際は、代金と振込手数料を別に記載してください(勘定科目が異なるため)。
- ・会計マニュアルの手順に沿った書類作成をお願いします。会計マニュアルの内容についても一度確認してください。

以上

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
現金・預金	26,669,303	預り金	59,773
立替金	394,098		
		負債合計	59,773
【固定資産】			
事務局積立金	4,300,307		
県学会等積立金	4,000,000		
		純資産の部	
		【株主資本】	
		資本金	1,635,000
		(利益剰余金)	
		繰越利益剰余金	33,668,935
		純資産合計	35,303,935
資産合計	35,363,708	負債・純資産合計	35,363,708

損益計算書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

(単位 円)

科目	金額	金額
【売上高】		
会費収入	16,978,500	
研修会会費収入	2,639,000	
雑収入	102,855	
広告掲載料	51,780	
補助金	150,000	19,922,135
売上総利益金額		19,922,135
【販売費および一般管理費】		17,125,079
営業利益金額		2,797,056
【営業外収益】		
受取利息		340
経常利益金額		2,797,396
税引前当期純利益金額		2,797,396
当期純利益金額		2,797,396

財 産 目 録

令和6年3月31日現在（決算）

		勘 定 科 目	繰 越 残 高
資 産 の 部	流 動 資 産	小 口 現 金	
		(現 金)	0
		普 通 預 金	23,034,303
		ゆうちょ銀行	2,090,420
		横浜銀行 一般社団法人用	15,121,648
		横浜銀行 事務局	784,613
		横浜銀行 財務部	29,680
		横浜銀行 教育部	700,661
		横浜銀行 学術部 研修事業班	28,005
		横浜銀行 学術部 学術誌刊行班	166,486
		横浜銀行 学術部 研究助成事業班	7,664
		横浜銀行 広報部	714
		横浜銀行 広報部 ニュース班	60,311
		横浜銀行 広報部 対外広報班	234,760
		横浜銀行 福利部	164,345
		横浜銀行 地域リハビリテーション部	465,947
		横浜銀行 地域リハビリテーション部生涯教育	0
		横浜銀行 規約委員会	117,800
		横浜銀行 制度対策部	89,020
		横浜銀行 制度対策部 福祉用具班	181,475
		横浜銀行 制度対策部 災害対策事業班	6,275
		横浜銀行 制度対策部 自動車運転班	72,063
		横浜銀行 ウェブサイト管理委員会	205,425
		横浜銀行 学会評議委員会	37,105
		横浜銀行 公益法人化対策委員会	237,951
		横浜銀行 生活行為向上マネジメント推進委員会	233,290
		横浜銀行 認知症対策委員会	133,560
		横浜銀行 地域包括ケアシステム推進委員会	55,900
		横浜銀行 選挙管理委員会	99,405
		横浜銀行 エリア化推進委員会	34,340
		横浜銀行 研修会費口	0
		横浜銀行 神奈川県作業療法学会	1,062,205
		横浜銀行 神奈川県臨床作業療法大会	613,235
		(流 動 性 預 金)	23,034,303
		定期預金	1,635,000
ゆうちょ銀行	1,635,000		
定額貯金	2,000,000		
ゆうちょ銀行	2,000,000		
(固 定 制 預 金)	3,635,000		
(預 金)	26,669,303		
[現 金 預 金]	26,669,303		
立替金	394,098		
【 流 動 資 産 】	27,063,401		
固 定 資 産	普通預金		
	横浜銀行 事務局積立	4,300,307	
	横浜銀行 県学会等積立金(一般社団法人用)	4,000,000	
	(積 立 金)	8,300,307	
【 固 定 資 産 】	8,300,307		
【 資 産 の 部 】	35,363,708		

第3号議案 2024年度（令和6年度）事業計画（案）

事務局

事務局長 玖島弘規

1. 総会運営

(1) 第11回社員総会

2024年5月12日（日）10:00～ 神奈川県立かながわ労働プラザ

2. 三役会・理事会

(1) 三役会の開催

(2) 理事会の開催

3. 会員情報の管理と把握

(1) 安全かつ正確な会員管理を行うためにより安全なシステム体系の継続更新

4. 会員からの問い合わせに対する業務

5. 関連団体等に対する業務

6. 文書の管理と発行および資料の管理

7. 資産の維持・管理に関すること

8. 局・部・委員会との調整・連携・協業

(1) 事務局内連携協業及び部・委員会との調整連携協業

9. 事務局機能の強化

10. その他当会の運営に必要なことを他部署と協業しながら行う

財務部

部長 望月 強併

1. 収入及び支出の管理

(1) 決算書作成

(2) 予算案編成

(3) 監査実施

(4) 各部門会計処理方法を毎月確認

(5) 円滑な会費納入支援

2. 財務管理体制に関する検討

(1) 財務管理システム変更の検討継続

(2) 財務状況の把握と調査

(3) 財務基盤の整備と強靱化についての検討(他部署と連携調整など)

(4) 財務関連知識・技術と体制の更新

(5) 会計マニュアルの更新(適宜)

3. 三役、監事、関係部署との連携（会議への出席、相談・支援等）

- (1) 事務局：財務状況の詳細把握、書類・マニュアルの整理・更新
- (2) 三役：次年度予算案についての検討、財務状況に関する調査報告
- (3) 学会実行委員会：学会の財務に関する助言・支援
- (4) 臨床作業療法大会：臨床作業療法大会の財務に関する助言・支援
- (5) その他各部署への財務に関する助言・支援
- (6) 部長、会計担当者に対する会計説明会の実施

4. 部内会議（適宜実施）

5. その他財務に関すること

学術部

部長 佐々木秀一

県士会員に対する基礎教育以後の学術活動支援を目的とし、臨床実践能力の育成を目指す。また、会員間の知識・技術の共有を促進し、「ともに学び、助け合う」ことを援助する。事業内容は、研修会の企画・運営、学術誌編集・発行、研究助成事業運営の3事業を展開する。

1. スキルアップ研修事業

スキルアップ研修会は全11回を予定する（身障分野7回、精神分野4回）基本的にはzoomを使用したオンラインでの形態を予定しているが、対面での研修会も2回程予定する。対面での内容は治療手技や実技など、対面でしか行えない内容とする。身障分野には研究やマネジメントなどの内容を含む。申し込みは全研修会でオンライン決済システム「Peatix」を使用する。研修会の内容によっては、OT養成校の学生の参加も可能にする。

2. 学術誌刊行事業

県士会発展に寄与する研究・実践の知見を会員間で共有するとともに、県士会の研究・実践活動を内外へ広報すること目的とする。

『神奈川作業療法研究 The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research 2024 Vol.14』を電子ジャーナル「J-stage」で発刊する。オンライン査読システムも使用する。

3. 研究助成事業

会員間での知見の共有、活動の広報を目的とし2課題を推薦予定。研究代表者および研究組織は、以下の2種類の研究課題とする。（研究Ⅰ）：研究代表者は全神奈川県士会員で、研究組織は2法人以上（研究分担者は神奈川県士会員を1名含む）。（研究Ⅱ）：研究代表者は免許取得7年目以下で、研究組織は1法人以上。

承認者は関連学会への応募や神奈川作業療法研究の学術誌への投稿にて成果を公表する予定。

研究助成事業へ関心が増せるよう研究に関する研修会をオンラインで開催する予定。

4. その他：研究倫理委員会の設置に向けた情報収集および準備を行う予定。

教育部

部長 神保洋平

1. 生涯教育制度関連研修会開催
 - (1) 現職者共通研修：全 10 テーマ開催（オンラインまたは対面）
 - (2) 現職者選択研修：2 領域以上の開催（オンラインまたは対面）
2. 臨床実習指導者講習会の開催：オンライン開催にて 50 名定員×2 回開催
臨床実習指導者アドバンスコース研修会 50 名定員×1 回
3. 事例報告登録制度の広報、事例報告登録推進研修会開催（オンラインまたは対面）
日本作業療法士協会と連携しながらの県士会主催研修会の開催。
4. 生涯教育制度の広報、啓蒙、推進
県士会ウェブサイトや県士会ニュースを通じたわかりやすい広報。
5. SIG 団体の登録管理
 - (1) SIG 団体の登録と管理、OT 協会への申請
6. 生涯教育制度システム利用による研修会バーコード受付及び関連手続き
ウェブ開催の場合における受講者の受講履歴チームによる登録
7. その他生涯教育制度関連事項
県士会ウェブサイトやメールでの質問への迅速な対応。
8. 日本作業療法士協会生涯教育制度部局との連携
9. 教育部体制の再構築

広報部

部長 金山 桂

1. 日本作業療法士協会との連携
 - (1) 都道府県士会広報部意見交換会への参加
 - (2) 協会・士会説明および入会促進事業への協力
2. 県士会活動に関する啓発活動
 - (1) 『県士会ニュース』発行・送付
 - 1) 発行回数：年 6 回、偶数月名で発行
4 月号・8 月号・10 月号は印刷物を送付
6 月号・12 月号・2 月号は PDF 仕上げ、ウェブサイトにて公開
 - 2) 印刷部数：約 2600 部 A4 縦 8～12 頁、場合によってカラー印刷あり
 - 3) 送付先：会員（賛助会員含む）、関連団体、県内養成校
 - 4) レイアウト・印刷・発送作業の委託：高陽印刷所に継続委託・適宜編集会議の実施
3. 作業療法に関する啓発活動
 - (1) 一般県民を対象とした活動

- 1) 神奈川県開催のイベントへの運営協力
 - ◆介護フェア in かながわ
 - 2) 市町村開催のイベントへの運営協力
 - ◆川崎市開催介護いきいきフェア・家族教室
 - 3) 関連職種・民間企業開催のイベント運営協力
 - (2) 学生を対象とした活動
 - 1) 小中学校における職業講話対応・職場見学対応
 - 2) 中高生のための「13歳のハローワーク」社会人アドバイザー対応
 - 3) 作業療法に興味のある学生に対する施設見学への対応・紹介
福利部と協同で施設見学会や小中学生対象の「夏休みイベント」運営
 - 4) 学校対応が必要な県士会員からの問い合わせ対応
- 4. 広報促進活動**
- (1) ウェブサイト管理委員会とのLINE公式アカウントの管理、情報発信の継続
 - (2) 『県士会パンフレット』改訂の検討
 - (3) 県士会広報促進グッズの作製
 - (4) その他県士会をしってもらうために必要な広報物の作成検討

福利部

部長 山勢健太郎

神奈川県作業療法士会会員の入会推進や会員同士の交流を図ることや子育て・介護時にも参加しやすい取り組みの検討、倫理問題の窓口等、「働きやすい環境」という側面から県士会に継続して加入してもらえるような企画運営を行う。

- 1. 作業療法士を目指す会員に対する入会促進企画**
 - (1) 新入会員促進媒体の作成
 - (2) 養成校に通う学生に向けた県士会の理解を促す機会の開催
 - (3) 主に小中高校生を対象としたオンラインでの施設見学会の開催
- 2. 会員交流企画**
 - (1) 新入会員オリエンテーションの開催
 - (2) 子育て・介護時にも継続して県士会に加入できる環境の検討・提案
- 3. 求人・求職の推進活動**
- 4. 各種表彰に基づく活動**
 - (1) 日本作業療法士協会の特別表彰規定に該当する会員の推薦を、神奈川県作業療法士会の推薦・運用規定に基づき行う。
 - (2) 厚生労働省や県、市区町村など、行政機関や団体に基づく表彰の該当者の推薦作業
 - (3) 関連団体に基づく表彰の該当者の推薦作業
 - (4) 神奈川県作業療法士会の表彰の推薦と運用
- 4. 倫理問題についての対応業務**

- (1) 日本作業療法士協会倫理要綱を遵守し、日本作業療法士協会と連携して職業倫理の遵守を推進していく。
- (2) 神奈川県作業療法士会会員に対し、倫理にもとる言動・対応（主にセクシャルハラスメント、パワーハラスメント、マタニティーハラスメント等）があった場合の相談・対応業務を行う。

地域リハビリテーション部

部長 遠藤陵晃

地域リハビリテーション部では、神奈川県内における在宅・施設で活躍する作業療法士に、知識・技術の提供をおこなうと共に、それぞれの連携を促し、ネットワークの構築に寄与する

地域共生社会の実現のために大きく3つの役割を持ち活動する。地域リハビリテーション人材育成を中心とした、こども、難病、精神、地域支援事業などに対して研修、会員や関係機関との共同連携やどの分野でも地域リハビリテーションを身近に感じてもらえるようにする普及、地域で他団体や当事者が作業療法を必要としているのかの情報収集などをする調査を行う。また職能団体として当事者や関係諸機関など県民とのネットワークづくりにも努め、地域リハビリテーションがより円滑に実践されることを目指す。

1. 研修担当

- (1) 「多職種精神保健福祉セミナー（第13回 OT・PSW 合同研修会）」企画・開催
- (2) 「地域リハビリテーション人材育成研修会 2024」企画・開催
 - 1) 地域支援事業に関する研修会など2回実施※内、介護予防と地域ケア会議研修会に関連する地域研修会等を2回実施する予定。
- (3) 特別支援教育等における作業療法士の研修会
- (4) 難病支援スキルアップ講習会

2. 普及担当

地域リハビリテーションにおける作業療法の普及を目指す。

- (1) 日本作業療法協会地域社会振興部からの情報収集、会議への参加
- (2) 作業療法士へ難病支援スキルの普及、他団体との情報交換
- (3) こどもにおける作業療法士の普及、他団体との情報交換
- (4) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会との情報交換
- (5) 県の地域・介護予防関連研修会などの協力
- (6) 他専門職団体と情報交換

3. 調査担当

地域リハビリテーションに必要な事業の調査を実施する。

- (1) 地域支援事業・障がい者団体等の活動調査
- (2) 地域リハビリテーション人材バンク検討（地域包括推進委員会と共同）。

制度対策部

部長 澤口 勇

1. 社会保障制度対策事業

- (1) 作業療法に関わる社会保障制度の情報収集と発信
 - 1) 県士会ニュース「保険情報コーナー」
 - 2) ブログによる情報発信
- (2) 日本作業療法士協会及び他団体との社会保障制度対策に関する連携
- (3) 制度対策に関する研修会の開催

2. 福祉用具対策事業

- (1) 福祉用具に関する会員向け研修会の開催
- (2) 福祉用具に関する情報収集と発信、相談支援
 - 1) 福祉用具相談支援システム・生活行為工夫情報システム啓発内容のブログ発信
- (3) 他団体からの要請に対し、福祉用具関連講師の派遣
 - 1) 国際福祉機器展 福祉用具相談ブースへの人員派遣等を予定

3. 災害対策事業

- (1) 災害対策に関する情報収集と発信
 - 1) Web サイトによる災害関連情報の発信
 - 2) 県士会ニュースへの記事掲載
- (2) 日本作業療法士協会との災害対策に関わる連携
 - 1) 日本作業療法士協会と連携した災害時安否確認システム訓練への参加
 - 2) 日本作業療法士協会・災害ボランティア登録への呼びかけ協力
- (3) 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）および県内他団体との連携、県士会の窓口（平時）としての機能。
- (4) 行政との連携（平時）及び神奈川 DWAT への参画（*総会時はすでに神奈川県との基本協定書の締結済み）
- (5) 会員被災状況確認のシステムの運用

4. 自動車運転と作業療法に関する事業

- (1) 自動車運転と作業療法に関する情報収集と発信
 - 1) 県士会ニュース
 - 2) ブログ「カナドラ」による発信
- (2) 自動車運転と作業療法に関する研修会実施
 - 1) 神奈川県警（県運転免許センター）との共同開催を予定
- (3) 自動車運転と作業療法に関する他団体及び日本作業療法士協会との連携
 - 1) 神奈川県指定自動車教習所協会との連携

5. その他、作業療法と制度に関すること

規約委員会

委員長 神田崇央

1. 定款、諸規則・規程の管理及び制定、変更、修正等の検討
2. 実務レベルでのマニュアルの整備

ウェブサイト管理委員会

委員長 佐藤範明

1. 基本概念

IT 技術を活用することで、作業療法関連情報・県士会関連情報を確実に発信する。

一般の方：作業療法について知ることができる⇒作業療法を使いたい人、作業療法士になりたい人を増やす、県民の健康の増進に寄与する。

県士会員：県士会情報のデータベースとなる⇒いつでも県士会について必要な情報を閲覧できる。

2. 活動計画

- (1) 県士会サイト<<https://kana-ot.jp>>の企画・管理・運営
- (2) 県士会電子メール<kaot@kana-ot.jp>の受付
- (3) 県士会関連のメールアカウントおよびメーリングリストの管理
- (4) 新着メールマガジン「kana からの手紙」の発信
- (5) ウェブサイト管理委員会公式 X(旧 Twitter)、Facebook、YouTube・Instagram の管理・運営、公式 LINE アカウントの管理・運営
- (6) 県士会サイトの広報（県士会ニュースでのウェブサイト通信の掲載など）
- (7) 神奈川県作業療法学会および神奈川県臨床作業療法大会の IT 支援
- (8) その他

学会評議委員会

委員長 青木啓一郎

1. 第 6 回神奈川県臨床作業療法大会の実行委員会支援

開催日時と方法：2024 年 12 月 8 日 国際医療福祉大学 小田原キャンパス(予定)

(対面開催のみ)

大会長：木村達(鶴巻温泉病院)

テーマ：Communication

プログラム：

- ・基調講演・シンポジウム…目標設定に関連する演題を予定(曾我病院 佐藤良枝 氏に依頼を検討中)

- ・一般演題発表…ポスター、口述合わせて 20～30 演題程度を予定
 - ・企画ブース…内容検討中
2. **第 20 回神奈川県作業療法学会の実行委員会支援**
開催日時と方法：検討中
学会長：中西理佐子（横浜南共済病院）
 3. **第 7 回神奈川県臨床作業療法大会の大会長の選出の検討**

生活行為向上マネジメント推進委員会

委員長 奥原孝幸

日本作業療法士協会の活動に協調して、生活行為向上マネジメント活用の普及・推進に取り組む

1. **生活行為向上マネジメントの講習会を企画・開催**
 - ・生活行為向上マネジメント基礎研修会 2 回実施予定
 - ・生活行為向上マネジメント事例検討会 6 回実施予定（隔月＋個別対応）
2. **生活行為向上マネジメントの推進**
 - ・事例報告会報告者の事例報告登録（事例集積）への指導
 - ・広報媒体への生活行為向上マネジメントに関する記事掲載
 - ・会員対象の生活行為向上マネジメントの意識調査（ウェブアンケート）の公表
 - ・生活行為向上マネジメント推進につながる研修会（県士会独自研修会）の検討

認知症対策委員会

委員長 佐藤 隼

会員や一般の方に対して認知症に対する知識の向上・情報の提供を行っていく。

1. **「認知症アップデート研修」開催**
認知症に関する地域資源や社会情勢の理解を目的とする「地域編」と作業療法の評価・治療に関する「臨床編」をオンラインまたは集合型で各 1 回ずつ開催する。
2. **認知症関連の情報収集および情報発信**
「アルツハイマーデー」から「認知症の日」に名称変更されることなど、認知症に関連する情報を会員等に周知・啓発する。
3. **認知症関連団体との協力・連携**
神奈川県内で行われている認知症関連団体が参加する集会に出席し、県内の認知症関連事業に対する県士会としての協力方針の検討や部員派遣の検討を行う。
4. **定例会議**
オンライン会議（1 回/3 ヶ月）およびメールを活用した意見交換を行う。

地域包括ケアシステム推進委員会

委員長 遠藤陵晃

高齢社会を迎え、誰もが住み慣れた地域で生き生きと生活出来るように各自治体の現状に応じて地域づくりが活発化している。新型コロナウイルス流行による影響もあったが地域で作業療法士の活躍する機会は増加している。当委員会は主に横浜市による地域リハビリテーション活動支援事業の委託を中心に、県士会員の本事業への派遣調整、支援をする。

2024年度においても横浜市地域リハビリテーション活動支援事業の継続と発展、会員の地域支援活動への参加促進、具体的な実践例を紹介し人材育成をしていく。

1. 横浜市「地域リハビリテーション活動支援事業への参画」、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」の取り組み推進等の横浜市事務検討会への出席
※令和6年度横浜市の派遣依頼件数は2月末時点調整中
2. 地域リハビリテーション活動支援事業に参画できる人材育成研修の実施
3. 地域リハビリテーション活動支援事業の教育分野への啓発
4. 地域リハビリテーション人材バンクの設立へ向けた情報収集

エリア化推進委員会

委員長 野本義則

エリア化推進委員会は、地域に根差した作業療法の実践に向けて、会員間のネットワーク構築を促進していく。2023年度は地域単位での会員同士の繋がりを形にすべく、エリア別での会員交流機会をつくっていく。また、地域支援活動助成金を新設し、会員の地域活動を後押ししていく。

1. 委員会の開催
2. 交流会の開催
(エリアミーティング、OTコネクトミーティング、代議員交流会)
3. エリア化に関する情報発信
4. 地域支援活動助成金事業
5. その他エリア化推進に関すること

選挙管理委員会

委員長 池田公平

1. 代議員選挙に関すること
(1) 社員総会での代議員選挙に関する報告
令和6年度・7年度代議員選挙結果

Aブロック（横浜市・川崎市・相模原市に勤務している正会員）：46名

Bブロック（県域：政令指定都市を除く地位域に勤務している正会員）：31名

（2）代議員選挙に関する振り返り

2. 役員選挙に関すること

令和7年度・8年度役員選挙に関する運営・実施

第4号議案 2024年度（令和6年度）予算案について

一般社団法人 神奈川県作業療法士会 2024年度予算（案）

収入の部				
会費収入			17,280,000	
正会員会費(4月2340名+新規100名)	17,230,000	賛助会員会費(会員B:5社)	50,000	
研修会費収入			2,424,000	
制度対策部	35,000	スキルアップ研修(学術部)	650,000	
現職者共通研修(教育部)	284,000	地域リハビリテーション部	98,000	
現職者選択研修(教育部)	360,000	生活行為向上マネジメント推進委員会	345,000	
事例報告登録制度研修(教育部)		0	認知症対策委員会	80,000
実習指導者研修	572,000	地域包括ケアシステム推進委員会	0	
助成金収入			150,000	
生涯教育講座	150,000			
広告収入			50,000	
雑収入			20,000	
運営準備金取り崩し			6,525,020	
収入合計			26,449,020	

支出の部					
事務局				11,874,600	
給与手当	4,140,000	賃借料	1,889,600	負担金	0
福利厚生費	76,000	光熱水費	300,000	消耗備品費	60,000
会議費	859,000	広告宣伝費	0	備品費	0
旅費交通費	540,000	渉外費	70,000	その他活動費	0
消耗品費	270,000	通信運搬費	1,409,000	雑費	60,000
印刷製本費	150,000	委託費	1,804,000	法人住民税	0
修繕費	47,000	諸謝金	0	租税公課	0
支払い手数料	200,000	保険料	0		
財務部				20,000	
福利厚生費	0	支払い手数料	2,000	諸謝金	0
会議費	6,000	賃借料	0	負担金	0
旅費交通費	6,000	渉外費	0	消耗備品費	0
消耗品費	0	通信運搬費	2,000	備品費	0
印刷製本費	0	委託料	0	雑費	4,000
学術部(スキルアップ研修事業班,研究助成事業班,学術誌刊行班,研究倫理審査委員会班)				1,278,720	
福利厚生費	44,000	支払い手数料	15,000	諸謝金	401,520
会議費	233,000	賃借料	39,000	負担金	0
旅費交通費	81,000	渉外費	0	消耗備品費	10,000
消耗品費	70,000	通信運搬費	37,200	備品費	0
印刷製本費	60,000	委託料	288,000	雑費	0
教育部				1,579,000	
福利厚生費	64,000	支払い手数料	2,000	諸謝金	1,054,000
会議費	148,000	賃借料	120,000	負担金	0
旅費交通費	96,000	渉外費	6,000	消耗備品費	0
消耗品費	20,000	通信運搬費	39,000	備品費	0
印刷製本費	30,000	委託料	0	雑費	0
広報部				2,779,200	
福利厚生費	0	支払い手数料	21,200	諸謝金	0
会議費	151,000	賃借料	80,000	負担金	0
旅費交通費	91,000	渉外費	0	消耗備品費	270,000
消耗品費	20,000	通信運搬費	1,176,000	備品費	0
印刷製本費	970,000	委託料	0	雑費	0
福利部				275,900	
福利厚生費	0	支払い手数料	7,000	諸謝金	23,000
会議費	104,000	賃借料	0	負担金	0
旅費交通費	44,000	渉外費	38,000	消耗備品費	50,000
消耗品費	0	通信運搬費	0	備品費	5,000
印刷製本費	0	委託料	0	雑費	4,900

部	地域リハビリテーション部(地域リハ班,生涯教育班)					932,200
	福利厚生費	65,800	支払い手数料	5,900	諸謝金	220,000
	会議費	279,000	賃借料	81,900	負担金	1,400
	旅費交通費	113,000	渉外費	26,000	消耗備品費	0
	消耗品費	16,700	通信運搬費	23,500	備品費	0
	印刷製本費	99,000	委託料	0	雑費	0
	制度対策部(社会保障制度対策事業班,福祉用具対策事業班,災害対策事業班,自動車運転班)					374,340
	福利厚生費	18,000	支払い手数料	9,000	諸謝金	52,000
	会議費	123,000	賃借料	70,000	負担金	0
	旅費交通費	47,500	渉外費	11,000	消耗備品費	1,000
消耗品費	7,500	通信運搬費	7,440	備品費	0	
				修繕費	1,000	
印刷製本費	26,900	委託料	0	雑費	0	
常設委員会	規約委員会					26,140
	福利厚生費	0	支払い手数料	600	諸謝金	0
	会議費	18,000	賃借料	2,000	負担金	0
	旅費交通費	4,500	渉外費	0	消耗備品費	0
	消耗品費	0	通信運搬費	1,040	備品費	0
	印刷製本費	0	委託料	0	雑費	0
	ウェブサイト管理委員会					239,740
	福利厚生費	0	修繕費	0	諸謝金	0
	会議費	27,000	賃借料	0	負担金	0
	旅費交通費	6,000	渉外費	0	消耗備品費	15,000
	消耗品費	0	通信運搬費	183,740	備品費	0
	印刷製本費	8,000	委託料	0	雑費	0
	学会評議委員会					113,540
	福利厚生費	0	支払い手数料	0	諸謝金	0
	会議費	92,000	賃借料	0	負担金	0
	旅費交通費	9,000	渉外費	0	消耗備品費	0
	消耗品費	0	通信運搬費	12,540	備品費	0
	印刷製本費	0	委託料	0	雑費	0
	選挙管理委員会					80,000
	福利厚生費	0	支払い手数料	0	諸謝金	0
会議費	20,000	賃借料	0	負担金	0	
旅費交通費	20,000	渉外費	0	消耗備品費	0	
消耗品費	0	通信運搬費	0	備品費	0	
印刷製本費	40,000	委託料	0	雑費	0	
常設委員会	生活行為向上マネジメント推進委員会					426,000
	福利厚生費	32,000	支払い手数料	5,000	諸謝金	276,000
	会議費	21,000	賃借料	70,000	負担金	0
	旅費交通費	12,000	渉外費	0	消耗備品費	0
	消耗品費	5,000	通信運搬費	0	備品費	0
	印刷製本費	5,000	委託料	0	雑費	0
	認知症対策委員会					108,000
	福利厚生費	6,000	支払い手数料	3,000	諸謝金	44,000
	会議費	28,000	賃借料	5,000	負担金	0
	旅費交通費	9,000	渉外費	0	消耗備品費	0
消耗品費	0	通信運搬費	2,000	備品費	0	
印刷製本費	7,000	委託料	0	雑費	4,000	
地域包括ケアシステム推進委員会					100,500	
福利厚生費	0	支払い手数料	0	諸謝金	0	
会議費	78,000	賃借料	5,000	負担金	0	
旅費交通費	16,000	渉外費	0	消耗備品費	0	
消耗品費	0	通信運搬費	1,500	備品費	0	
印刷製本費	0	委託料	0	雑費	0	
エリア化推進委員会					270,940	
福利厚生費	45,000	支払い手数料	5,400	諸謝金	0	
会議費	27,000	賃借料	15,000	負担金	0	
旅費交通費	19,500	渉外費	0	消耗備品費	1,000	
消耗品費	0	通信運搬費	1,040	備品費	0	
印刷製本費	7,000	委託料	0	雑費	150,000	

そ の 他	助成金		400,000
	研究助成	400,000	
	積立金		2,000,000
	事務局積み立て 設備投資、システム更新など		1,000,000
	県学会・臨床大会積み立て 会場の契約前金・50周年積立など		1,000,000
	神奈川県作業療法学会 実行委員会		1,600,000
	開催年 会場費50万円+運営費110万円		1,600,000
	臨床作業療法大会 実行委員会		900,000
	準備年 会場費(半額¥40万)+運営費(1年分¥50万)		900,000
	他団体会費		70,200
	神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会		70,200
	予備費(補正予算分)		1,000,000
支 出 合 計		26,449,020	

第 5 号議案 定款の修正について

1. 一般社団法人 神奈川県作業療法士会 定款の修正について

現行	改定案
<p>(種別)</p> <p>第 8 条 本会の会員は、次の 3 種とする。</p> <p>(1) 正会員 理学療法士及び作業療法士法 (昭和 40 年法律第 137 号) 第 3 条の規定による作業療法士の免許を有し、本会の目的に賛同する者で、神奈川県内に勤務又は居住する者。</p> <p>(2) 賛助会員 本会の目的に賛同し、これを援助する個人又は団体。</p> <p>(3) 名誉会員 本会の事業に顕著な功労があり、理事会の推薦に基づき総会の承認を得た個人又は団体。</p>	<p>(種別)</p> <p>第 8 条 本会の会員は、次の4<u>5</u>種とする。</p> <p>(1) 正会員 理学療法士及び作業療法士法 (昭和 40 年法律第 137 号) 第 3 条の規定による作業療法士の免許を有し、本会の目的に賛同する者で、神奈川県内に勤務又は居住する者。</p> <p>(2) 賛助会員 本会の目的に賛同し、これを援助する個人又は団体。</p> <p>(3) 名誉会員 本会の事業に顕著な功労があり、理事会の推薦に基づき総会の承認を得た個人又は団体。</p> <p><u>(4) 永年会員 20 年以上の会員歴を有する満 65 歳以上の正会員であって、理事会の承認を得た個人。</u></p> <p><u>(5) 学生会員 神奈川県内の作業療法士養成校に在籍している個人又は神奈川県外の作業療法士養成校に在籍しており、作業療法士免許を取得後、神奈川県内に居住もしくは神奈川県内の施設に就職をする予定の個人。</u></p>
<p>(入会)</p> <p>第 9 条 正会員及び賛助会員になろうとする者は、理事会の定めるところにより申込みをし、その承認を受けなければならない。</p> <p>2 名誉会員に推薦された個人又は団体は入会の手続きを要せず、その個人又は団体の承認をもって会員となるものとする。</p>	<p>(入会)</p> <p>第 9 条 正会員、<u>賛助会員、永年会員及び学生会員</u>になろうとする者は、理事会の定めるところにより申込みをし、その承認を受けなければならない。</p> <p>2 名誉会員に推薦された個人又は団体は入会の手続きを要せず、その個人又は団体の承認をもって会員となるものとする。</p>
<p>(入会金及び会費)</p> <p>第 10 条 正会員及び賛助会員は総会の議</p>	<p>(入会金及び会費)</p> <p>第 10 条 正会員及び賛助会員は総会の議</p>

<p>決によって別に定められた入会金及び会費を納入しなければならない。</p> <p>2 名誉会員は会費の納入を要しない。</p> <p>(退会)</p> <p>第 12 条 正会員及び賛助会員は、いつでも任意に退会することができる。ただし、1ヶ月以上前にその旨を書面にて会長に届けなければならない。</p> <p>2 会費を1年以上滞納した場合、会員の資格喪失（定款第2章 11 条 7 項）による退会とする。</p>	<p>決によって別に定められた入会金及び会費を納入しなければならない。</p> <p>2 名誉会員及び<u>学生会員</u>は会費の納入を要しない。</p> <p>3 <u>永年会員は総会の議決によって別に定められた会費を納入しなければならない。</u></p> <p>(退会)</p> <p>第 12 条 正会員、賛助会員、<u>永年会員及び学生会員</u>は、いつでも任意に退会することができる。ただし、1ヶ月以上前にその旨を書面にて会長に届けなければならない。</p> <p>2 会費を1年以上滞納した場合、会員の資格喪失（定款第2章 11 条 7 項）による退会とする。</p>
--	---

第 6 号議案 規程の修正について

1. 一般社団法人神奈川県作業療法士会 会員規程

現行	改定案
<p>(会員の種別)</p> <p>第 2 条 本会の会員は本会定款第 8 条に規定される正会員、賛助会員及び名誉会員の 3 種とする。</p>	<p>(会員の種別)</p> <p>第 2 条 本会の会員は本会定款第 8 条に規定される正会員、賛助会員、<u>永年会員、学生会員</u>及び名誉会員の3<u>5</u>種とする。</p>
<p>(会員の権利及び特典)</p> <p>第 3 条 本会の会員の内、正会員及び賛助会員は、別に定める会員権利及び特典内規の権利及び特典を有するものとする。</p>	<p>(会員の権利及び特典)</p> <p>第 3 条 本会の会員の内、正会員、賛助会員、<u>永年会員及び学生会員</u>は、別に定める会員権利及び特典内規の権利及び特典を有するものとする。</p>
<p>(入会の申込み)</p> <p>第 4 条 本会の正会員及び賛助会員になろうとする者は、本会定款第 9 条の規定による入会手続きを経なければならない。</p>	<p>(入会の申込み)</p> <p>第 4 条 本会の正会員、賛助会員<u>及び学生会員</u>になろうとする者は、本会定款第 9 条の規定による入会手続きを経なければならない。</p>
<p>(入会金)</p> <p>第 5 条 本会の正会員及び賛助会員になろうとする者は、本会定款第 10 条に基づき、総会の議決によって定められた入会金を納入しなければならない。</p> <p>2 入会金の金額は次の各号に従い、本規程第 3 条に規定される入会申込書と共に納入するものとする。</p> <p>(1) 正会員 1,500 円</p> <p>(2) 賛助会員 1,500 円</p>	<p>(入会金)</p> <p>第 5 条 本会の正会員及び賛助会員になろうとする者は、本会定款第 10 条に基づき、総会の議決によって定められた入会金を納入しなければならない。</p> <p>2 入会金の金額は次の各号に従い、本規程第 3<u>4</u>条に規定される入会申込書と共に納入するものとする。</p> <p>(1) 正会員 1,500 円</p> <p>(2) 賛助会員 1,500 円</p>
<p>(会費)</p> <p>第 6 条 本会の正会員及び賛助会員並びに本会の正会員及び賛助会員になろうとする者は、本会定款第 10 条に基づき、総会の議決によって定められた会費を納入しなければならない。</p> <p>2 本会の正会員及び賛助会員になろうとする者が会費を納入する際は、本規程第 3</p>	<p>(会費)</p> <p>第 6 条 本会の正会員、賛助会員<u>及び永年会員</u>は本会定款第 10 条に基づき、総会の議決によって定められた会費を納入しなければならない。</p> <p>2 <u>本会の正会員及び賛助会員になろうとする者が</u>会費を納入する際は、本規程第3<u>4</u>条に規定される入会申込書及び本規程第</p>

<p>条に規定される入会申込書及び本規程第 5 条に規定される入会金と共に納入するものとする。</p> <p>3 会費の金額は次の各号に従い納入するものとする。</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 正会員</td> <td>7,000 円</td> </tr> <tr> <td>(2) 賛助会員 A</td> <td>7,000 円</td> </tr> <tr> <td>(3) 賛助会員 B (1 口)</td> <td>10,000 円</td> </tr> <tr> <td>(4) 賛助会員 C (1 口)</td> <td>2,000 円</td> </tr> </table> <p>4 賛助会員 B 及び賛助会員 C の会費は 1 口以上とする。</p> <p>(会費の納入)</p> <p>第 7 条 本会の正会員及び賛助会員はその会費を毎年納入しなければならない。</p> <p>(退会)</p> <p>第 9 条 本会定款第 12 条に基づき、正会員及び賛助会員は、いつでも任意に退会することができる。</p>	(1) 正会員	7,000 円	(2) 賛助会員 A	7,000 円	(3) 賛助会員 B (1 口)	10,000 円	(4) 賛助会員 C (1 口)	2,000 円	<p>5 条に規定される入会金と共に納入するものとする。</p> <p>3 会費の金額は次の各号に従い納入するものとする。</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 正会員</td> <td>7,000 円</td> </tr> <tr> <td>(2) 永年会員</td> <td>3,000 円</td> </tr> </table> <hr/> <table border="0"> <tr> <td>(3) 賛助会員 A</td> <td>7,000 円</td> </tr> <tr> <td>(4) 賛助会員 B (1 口)</td> <td>10,000 円</td> </tr> <tr> <td>(5) 賛助会員 C (1 口)</td> <td>2,000 円</td> </tr> </table> <p>4 賛助会員 B 及び賛助会員 C の会費は 1 口以上とする。</p> <p>5 <u>学生会員の会費は無料とする。</u></p> <p>(会費の納入)</p> <p>第 7 条 本会の正会員、<u>賛助会員及び永年会員</u>はその会費を毎年納入しなければならない。</p> <p>(退会)</p> <p>第 9 条 本会定款第 12 条に基づき、正会員、<u>賛助会員、永年会員及び学生会員</u>は、いつでも任意に退会することができる。</p>	(1) 正会員	7,000 円	(2) 永年会員	3,000 円	(3) 賛助会員 A	7,000 円	(4) 賛助会員 B (1 口)	10,000 円	(5) 賛助会員 C (1 口)	2,000 円
(1) 正会員	7,000 円																		
(2) 賛助会員 A	7,000 円																		
(3) 賛助会員 B (1 口)	10,000 円																		
(4) 賛助会員 C (1 口)	2,000 円																		
(1) 正会員	7,000 円																		
(2) 永年会員	3,000 円																		
(3) 賛助会員 A	7,000 円																		
(4) 賛助会員 B (1 口)	10,000 円																		
(5) 賛助会員 C (1 口)	2,000 円																		

2. 一般社団法人 神奈川県作業療法士会 謝金規定

別表 謝金支払基準の改定案になります。

現行

別表 謝金支払基準

支払対象区分		1時間当たりの支給額 (税込)			400字当たりの支給額 (税込)	
		講義・講演	実技指導	備考	原稿料等	
講師基準	1	社会的な著名人	その額は理事会の議決を経て決定する。			
	2	大学教授、官公庁局長級、民間企業役員、民間専門家、著名ジャーナリスト、医師(a)、弁護士等(a)、公認会計士(a)、専門作業療法士	13,000円(上限)			一般社団法人日本作業療法士協会会員および一般社団法人神奈川県作業療法士会会員については、講師基準の該当区分支払額の5割相当額とする 会員： 投稿原稿の場合は支払いなし 会員： 依頼原稿の場合は 1,500円(上限) 会員外： 依頼原稿の場合は 3,000円(上限)
	3	大学准教授、短大・高専教授、高校校長、官公庁課長級、民間企業上級管理者層、民間専門研究者、医師(b)、弁護士等(b)、公認会計士(b)、認定作業療法士	11,500円(上限)			
	4	大学講師、短大・高専准教授、高校教頭、官公庁課長補佐級、民間企業管理者層、民間一般技術者、作業療法士(a)	10,000円(上限)			
	5	大学助教、短大講師・助教、高専講師・助教、高校教諭、官公庁係長級、官公庁職員、民間企業監督者層、民間企業職員、民間一般技能者、作業療法士(b)	9,000円(上限)			
助手	実技指導等の際の助手に対する謝金は1日当たりの上限を12,000円とし、実技指導等に要した時間に応じて支払う。					

改定案

別表 謝金支払基準

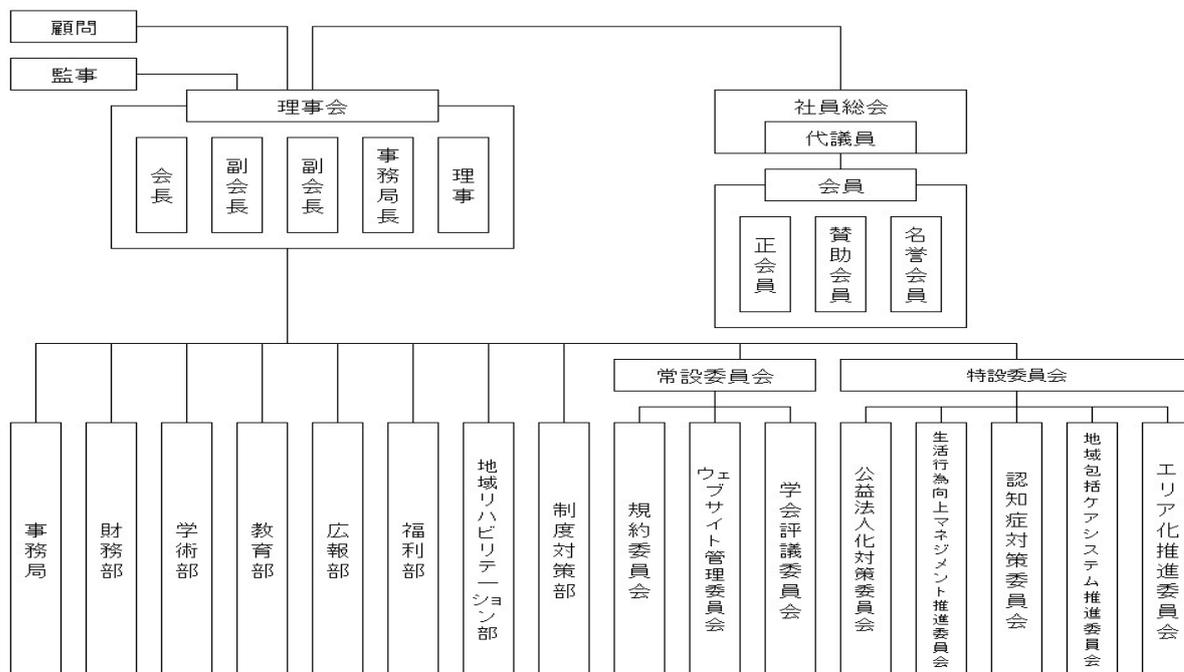
支払対象区分		1時間当たりの支給額 (税込)			400字当 りの支給額 (税込)	
		講義・講 演	実技指導	備考	原稿料等	
講 師 基 準	1	社会的な著名人	その額は理事会の議決を経て決定する。			
	2	大学教授、官公庁局部長級、民間企業役員、民間専門家、著名ジャーナリスト、医師(a)、弁護士等(a)、公認会計士(a)、専門作業療法士	13,000円(上限)			投稿原稿： 支払いなし 依頼原稿： 3,000円 (上限)
	3	大学准教授、短大・高専教授、高校校長、官公庁課長級、民間企業上級管理者層、民間専門研究者、医師(b)、弁護士等(b)、公認会計士(b)、認定作業療法士	11,500円(上限)			
	4	大学講師、短大・高専准教授、高校教頭、官公庁課長補佐級、民間企業管理者層、民間一般技術者、作業療法士(a)	10,000円(上限)			
	5	大学助教、短大講師・助教、高専講師・助教、高校教諭、官公庁係長級、官公庁職員、民間企業監督者層、民間企業職員、民間一般技能者、作業療法士(b)	9,000円(上限)			
助 手	実技指導等の際の助手に対する謝金は1日当たりの上限を12,000円とし、実技指導等に要した時間に応じて支払う。					

3. 一般社団法人神奈川県作業療法士会

別表 組織図、所掌事務の改定案になります。

現行

別図 一般社団法人神奈川県作業療法士会 組織図（平成 27 年度）



別表 所掌事務

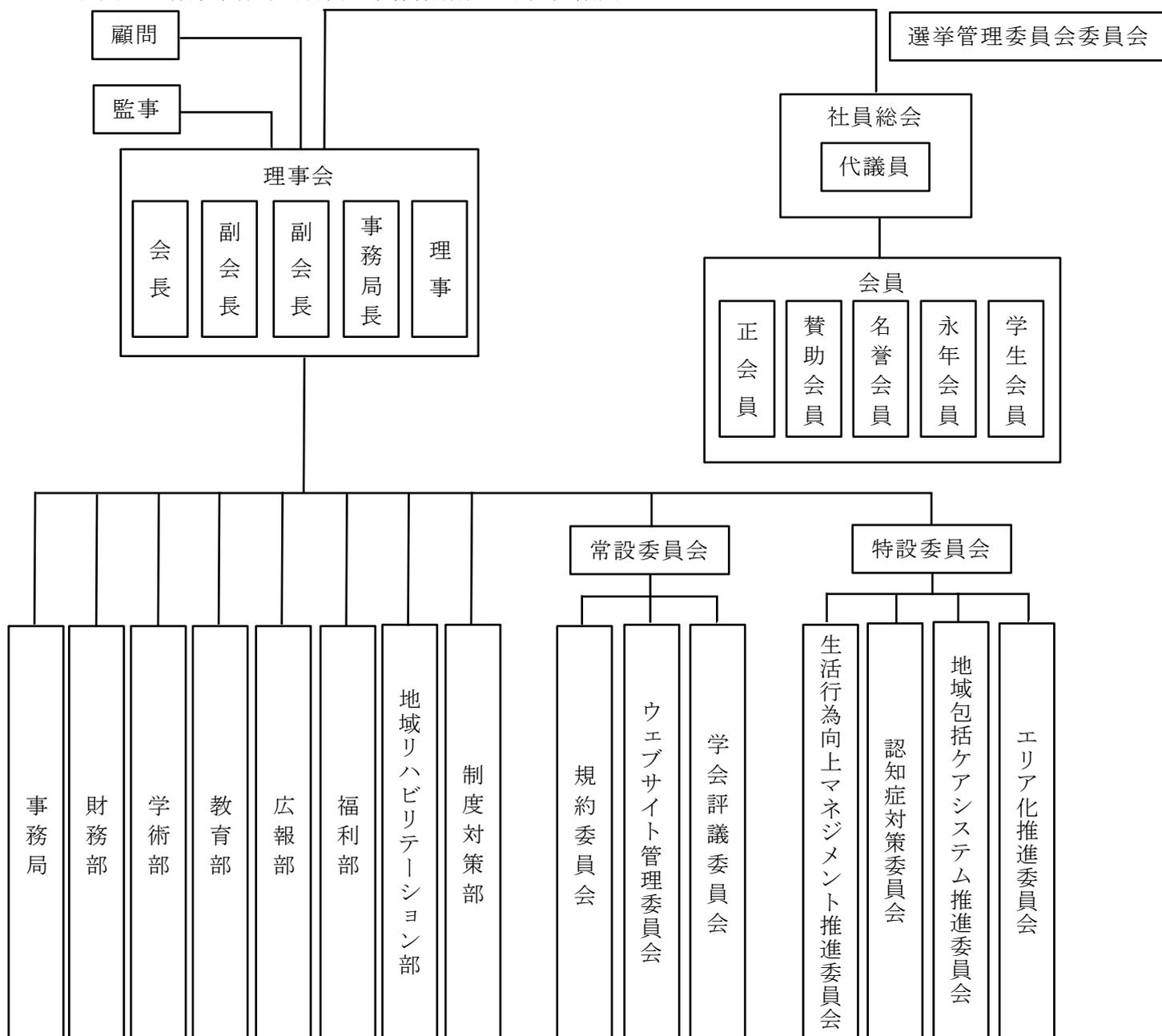
事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の入退会に関する事 2. 会員名簿に関する事 3. 内外の公文書に関する事 4. 議案書、会議資料、議事録に関する事 5. 会議案内、会議場設営、接待に関する事 6. 総会議事運営に関する事 7. 儀礼関係、内外の来信に関する事 8. 資産の維持・管理に関する事 9. 各種刊行物の発行と保管に関する事 10. その他各部に属しないことに関する事
財務部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予算編成に関する事 2. 会費その他の収入活動に関する事 3. 支出、決算に関する事 4. その他財務に関する事
学術部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の臨床能力向上に関する事 2. 会員の実習指導能力向上に関する事 3. 会員の職場管理能力向上に関する事 4. 会員の研究活動推進に関する事 5. 会員の学術的発展に関する事 6. 学術誌編集に関する事 7. その他学術に関する事
教育部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社団法人日本作業療法士協会生涯教育制度の推進、運営に関する事 2. 神奈川県内における special interest group (SIG) の認定、管理に関する事 3. その他生涯教育に関する事

広報部	<ol style="list-style-type: none"> 1. ニュースの編集・発行など会員への情報発信に関する こと 2. 国民，神奈川県民に対する作業療法の広報に関する こと 3. その他広報に関すること
福利部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新入会員に対するオリエンテーションに関する こと 2. 会員間の交流に関すること 3. 作業療法の発展・推進に寄与した人物・団体等の表彰 に関すること 4. 会員の倫理に関すること 5. 神奈川県内の求人・求職に関すること 6. その他福利厚生に関すること
地域リハビリテーション部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域における作業療法の普及・推進に関する こと 2. 地域リハビリテーションにおける他職種・機関・組織 との連携に関すること 3. 地域で暮らす障がい者・家族、支援者等との連携に 関すること 4. その他地域リハビリテーションに関する こと
制度対策部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会保障制度に関する こと 2. 作業療法関連法規に関する こと 3. 福祉用具の普及・発展に関する こと 4. その他福祉用具に関する こと 5. 災害対策に関する こと 6. その他作業療法関連制度に関する こと
規約委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定款の管理に関する こと 2. 諸規則・規程の策定・修正・変更に関する こと 3. その他規約に関する こと
ウェブサイト管理委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウェブサイトの管理に関する こと 2. メールアカウントの管理に関する こと 3. その他ウェブサイトに関する こと
学会評議委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会の 計画に関する こと 2. 神奈川県作業療法学会学会長，神奈川県臨床作業療法 大会長の推薦に関する こと 3. 神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会の 適正遂行に関する こと 4. 神奈川県作業療法学会実行委員会，神奈川県臨床作業 療法大会実行委員会との連絡・調整に関する こと 5. 神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会の 資料保管に関する こと 6. その他神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法 大会に関する こと
生活行為向上マネジメント 推進委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活行為向上マネジメントの普及・推進に関する こと 2. 生活行為向上マネジメントについて，日本作業療法士 協会との連携に関する こと 3. 生活行為向上マネジメント実施状況の調査に関する こと 4. その他生活行為向上マネジメントに関する こと
認知症対策委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症に対する作業療法の普及・推進に関する こと 2. 認知症に関連する他職種・機関・組織との連携に 関すること 3. その他認知症に関する こと
公益法人化対策委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公益認定申請・更新に関する こと 2. 公益法人の登記に関する こと 3. 公益目的事業に関する こと 4. その他公益法人格取得に関する こと
地域包括ケアシステム	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域包括ケアシステムの推進に関する こと

推進委員会	2. 地域支援に関する諸施策において、他職種、他団体との連携に関すること 3. 県民の健康に寄与する作業療法の有効性を実証できる施策に関すること
エリア化推進委員会	1. 地域に根差した作業療法を実践していくために必要なネットワークづくりに関すること 2. エリア化に関する情報発信 3. その他エリア化推進に関すること

改定案

別図 一般社団法人神奈川県作業療法士会 組織図



別表 所掌事務

事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の入退会に関する事 2. 会員名簿に関する事 3. 内外の公文書に関する事 4. 議案書、会議資料、議事録に関する事 5. 会議案内、会議場設営、接待に関する事 6. 総会議事運営に関する事 7. 儀礼関係、内外の来信に関する事 8. 資産の維持・管理に関する事 9. 各種刊行物の発行と保管に関する事 10. その他各部に属しないことに関する事
財務部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予算編成に関する事 2. 会費その他の収入活動に関する事 3. 支出、決算に関する事 4. その他財務に関する事
学術部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の臨床能力向上に関する事 2. 会員の実習指導能力向上に関する事 3. 会員の職場管理能力向上に関する事 4. 会員の研究活動推進に関する事 5. 会員の学術的発展に関する事 6. 学術誌編集に関する事 7. その他学術に関する事
教育部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社団法人日本作業療法士協会生涯教育制度の推進、運営に関する事 2. 神奈川県内における special interest group (SIG) の認定、管理に関する事 3. その他生涯教育に関する事
広報部	<ol style="list-style-type: none"> 1. ニュースの編集・発行など会員への情報発信に関する事 2. 国民、神奈川県民に対する作業療法の広報に関する事 3. その他広報に関する事
福利部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新入会員に対するオリエンテーションに関する事 2. 会員間の交流に関する事 3. 作業療法の発展・推進に寄与した人物・団体等の表彰に関する事 4. 会員の倫理に関する事 5. 神奈川県内の求人・求職に関する事 6. その他福利厚生に関する事
地域リハビリテーション部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域における作業療法の普及・推進に関する事 2. 地域リハビリテーションにおける他職種・機関・組織との連携に関する事 3. 地域で暮らす障がい者・家族、支援者等との連携に関する事 4. その他地域リハビリテーションに関する事
制度対策部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会保障制度に関する事 2. 作業療法関連法規に関する事 3. 福祉用具の普及・発展に関する事 4. その他福祉用具に関する事 5. 災害対策に関する事 6. その他作業療法関連制度に関する事
規約委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定款の管理に関する事 2. 諸規則・規程の策定・修正・変更に関する事 3. その他規約に関する事
ウェブサイト管理委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウェブサイトの管理に関する事 2. メールアカウントの管理に関する事 3. その他ウェブサイトに関する事

<p>学会評議委員会</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会の計画に関する事 2. 神奈川県作業療法学会学会長，神奈川県臨床作業療法大会長の推薦に関する事 3. 神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会の適正遂行に関する事 4. 神奈川県作業療法学会実行委員会，神奈川県臨床作業療法大会実行委員会との連絡・調整に関する事 5. 神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会の資料保管に関する事 6. その他神奈川県作業療法学会，神奈川県臨床作業療法大会に関する事
<p>生活行為向上マネジメント推進委員会</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活行為向上マネジメントの普及・推進に関する事 2. 生活行為向上マネジメントについて，日本作業療法士協会との連携に関する事 3. 生活行為向上マネジメント実施状況の調査に関する事 4. その他生活行為向上マネジメントに関する事
<p>認知症対策委員会</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症に対する作業療法の普及・推進に関する事 2. 認知症に関連する他職種・機関・組織との連携に関する事 3. その他認知症に関する事
<p>地域包括ケアシステム推進委員会</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域包括ケアシステムの推進に関する事 2. 地域支援に関する諸施策において，他職種、他団体との連携に関する事 3. 県民の健康に寄与する作業療法の有効性を実証できる施策に関する事
<p>エリア化推進委員会</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域に根差した作業療法を実践していくために必要なネットワークづくりに関する事 2. エリア化に関する情報発信 3. その他エリア化推進に関する事
<p>選挙管理委員会</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代議員選挙および役員選挙、三役互選選挙に関する事

第7号議案 代議員選挙結果

令和6年度・7年度代議員選挙の立候補者募集（募集期間：2023年12月1日～2023年12月15日*消印有効）に対し、Aブロック37名、Bブロック18名の立候補がありました。また、推薦候補者募集（募集期間：2024年1月9日～2024年2月14日）に対し、Aブロック9名、Bブロック13名の推薦候補がありました。なお、Aブロック、Bブロック共に立候補者数と推薦候補者数が定数と同数となったため、無投票当選となります。

*所属は2024(令和6年)2月14日現在

【Aブロック46名（横浜市・川崎市・相模原市に勤務している正会員）（届出順・敬称略）】

No.	氏名	所属
1	玖島 弘規	横浜旭中央総合病院
2	宮内 貴之	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
3	中里 和也	ワン・ライフ訪問看護ステーション
4	井本 裕堂	医療法人社団緑成会 横浜総合病院
5	本間 嗣崇	神奈川県立麻生支援学校
6	野本 義則	自宅会員
7	福留 大輔	横浜旭中央総合病院
8	林 慎也	アール・クラ横浜
9	金山 桂	介護老人保健施設 千の風・川崎
10	内山 博之	学校法人岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校
11	水野 友和	江田記念病院
12	石井 将文	東戸塚記念病院
13	榎本 光彦	東戸塚記念病院
14	瀧澤 亮	東戸塚記念病院
15	柳橋 宏亮	江田記念病院
16	鈴木 香苗	関東病院
17	佐藤 光	済生会 東神奈川リハビリテーション病院
18	田島 明子	湘南医療大学
19	中井 琢哉	北里大学病院
20	戸塚 香代子	川崎市中央療育センター
21	花形 真	医療法人財団明理会 介護老人保健施設相模ロイヤルケアセンター
22	清水 謙太	Luxem 訪問看護リハビリステーション川崎宮前
23	村越 妙美	川崎医療生活協同組合 介護老人保健施設樹の丘
24	吉村 由香	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
25	平井 翔也	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
26	横山 真佑	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
27	吉武 信治	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
28	宇都宮 裕人	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院

29	中西 みなみ	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
30	水島 加奈子	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院
31	牧山 大輔	イムス横浜狩場脳神経外科病院
32	金原 衣理子	横浜旭中央総合病院
33	宮田 和典	横浜なみきりハビリテーション病院
34	郷 康人	イムス横浜狩場脳神経外科病院
35	渡瀬 広之	横浜なみきりハビリテーション病院
36	山中 竜太	イムス横浜狩場脳神経外科病院
37	加藤 秀隆	明芳会 江田記念病院
38	小林 佳弘	ふれあい東戸塚ホスピタル
39	佐々木 秀一	北里大学病院
40	黒崎 空	北里大学病院
41	宮崎 道輝	北里大学病院
42	千葉 周平	北里大学病院
43	佐々木 露葉	麻生リハビリ総合病院
44	山勢 健太郎	平成横浜病院
45	早川 大貴	ふれあい鶴見ホスピタル
46	堀内 翔平	横浜旭中央総合病院

【Bブロック 31名(県域:政令指定都市を除く地域に勤務している正会員)(届出順・敬称略)】

No.	氏名	所属
1	重田 優子	ふれあい平塚ホスピタル
2	佐藤 慶一	横須賀市立うわまち病院
3	山口 拓也	鶴巻温泉病院
4	魚岸 実弦	スターホーム株式会社グループホームセラヴィ葉山
5	和田 尚	アカラ・ケア訪問看護ステーション小田原サテライト
6	吉本 雅一	湘南鎌倉総合病院
7	藤本 一博	茅ヶ崎新北陵病院
8	遠藤 毅	茅ヶ崎新北陵病院
9	小泉 雅哉	鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院
10	奥原 孝幸	神奈川県立保健福祉大学
11	甲本 夏穂	国際医療福祉大学
12	澤口 勇	訪問看護ステーション レングの花
13	黒木 裕介	葉山ハートセンター
14	齊田 浩彰	湘南鎌倉総合病院
15	古屋 陣	北小田原病院
16	田中 秀和	北小田原病院
17	岡 由紀恵	北小田原病院

18	伏見 幹	北小田原病院
19	塚田 菜穂	湘南鎌倉総合病院
20	高橋 若奈	湘南鎌倉総合病院
21	金子 康	湘南わかば苑
22	黒澤 駿	茅ヶ崎中央病院
23	神保 匡良	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
24	村仲 隼一郎	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
25	渋谷 拓郎	えびな脳神経クリニック
26	藤崎 咲子	社会福祉法人翔の会 児童発達支援センターうーたん
27	高須 慎太郎	湘南中央病院
28	神田 崇央	医療法人徳洲会 湘南大磯病院
29	丸山 祥	湘南慶育病院
30	山根 剛	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
31	神保 洋平	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校

資料

1. 2023年度 後援・協賛等一覧

2023年4月9日	特定非営利活動法人しろい地 図	福祉を創る学校	後援
5月19日	神奈川県保険医協会	第31回在宅医療・介護セ ミナー	後援
5月20日	神奈川県保険医協会	市民公開講座	後援
6月17日 ～18日	日本ケアマネジメント学会第 22回研究大会事務局	日本ケアマネジメント学 会第22回研究大会	後援
6月23日 ～24日	第25回日本医療マネジメン ト学会学術総会事務局	第25回日本医療マネジメ ント学会学術総会	後援
9月17日	特定非営利活動法人しろい地 図	福祉を創る学校	後援
10月14日	神奈川県回復期リハビリテー ション病棟協会連絡協議会	第8回多職種リハビリ勉強 会	後援
10月18日	神奈川県病院協会	第42回神奈川県病院学会	協力 団体
10月22日	神奈川県保険医協会	第24回医療・健康フェス ティバル	後援
11月3日～5日 12月2日	RUN伴+三浦半島2023実行委 員会	RUN伴+三浦半島2023	後援
11月18日 ～19日	車いすSIG	第51回車いすSIG講習会 in厚木	後援
12月16日 ～17日	第66回日本病院・地域精神 医学会総会神奈川大会事務局	第66回日本病院・地域精 神医学会総会神奈川大会	後援
2024年2月17日	神奈川県介護支援専門員協会	第21回神奈川県介護支援 専門員研究大会	後援
3月3日	神奈川県西地区リハビリテー ション協議会	小田原®フェス2024	後援
3月9日	神奈川県建築士会	専門職連携 住宅改修ワ ークショップ	後援
3月10日	日本医療マネジメント学会	第23回神奈川県支部学術 集会	後援

2. 2023 年度 賛助会員一覧

株式会社 柴橋商会	学校法人昭和大学 昭和大学保健医療学部
「進」リハの集い	有限会社 足柄リハビリテーションサービス
イワツキ株式会社	グランメイト株式会社
上沼 早慧氏	小崎 瑞穂氏
高見澤 広太氏	田坂 麻紀子氏

3. 2023 年度 名誉会員 一覧

田中 節子 氏

4. 2023 年度他組織・団体等の県士会代表委員名簿

団体名	役職	代表
神奈川県病院協会学術委員会	事業委員	神保会長
神奈川県エイズ対策推進委員会	委員	神保会長
神奈川県病院医療関係団体連絡協議会	委員	神保会長
神奈川県在宅医療推進協議会リハビリテーション部会	委員	田中副会長
神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会	副会長 委員 委員	遠藤理事 佐藤隼理事 齊藤梢氏
神奈川県介護予防事業市町村支援委員会 専門部会	委員	遠藤理事

5. 一般社団法人 日本作業療法士協会 特別表彰者 一覧

平成 27 年度表彰	渡邊 慎一 氏 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
平成 28 年度表彰	鶴見 隆彦 氏 (湘南医療大学)
平成 30 年度表彰	杉本 由美子 氏 (重度身体障害者と共に歩む会)

6. 第8期（2023・2024年度）理事・監事名簿

	役職・担当部署	氏名	所属	勤務体制
代表理事	会長	神保 武則	北里大学病院	非常勤
理事	副会長	田中 ゆかり	藤沢市保健医療センター (居宅介護支援事業所)	非常勤
理事	副会長	吉本 雅一	医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院	非常勤
理事	事務局長	玖島 弘規	横浜旭中央総合病院	非常勤
理事	財務部	望月 強併	日本鋼管病院	非常勤
理事	学術部	佐々木 秀一	北里大学病院	非常勤
理事	教育部	神保 洋平	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	非常勤
理事	広報部	金山 桂	介護老人保健施設 千の風・川崎	非常勤
理事	福利部	山勢 健太郎	平成横浜病院	非常勤
理事	地域リハビリテーション部	遠藤 陵晃	横浜 YMCA 学院専門学校	非常勤
理事	制度対策部	澤口 勇	訪問看護ステーション レンゲの花	非常勤
理事	規約委員会	神田 崇央	医療法人徳洲会 湘南大磯病院	非常勤
理事	ウェブサイト管理委員会	佐藤 範明	昭和大学保健医療学部作業療法学科	非常勤
理事	学会評議委員会	青木 啓一郎	昭和大学保健医療学部作業療法学科	非常勤
理事	公益法人化対策委員会	野本 義則	自宅会員	非常勤
理事	認知症対策委員会	佐藤 隼	さがみりハビリテーション病院	非常勤
理事	生活行為向上マネジメント推進委員会	奥原 孝幸	神奈川県立保健福祉大学	非常勤
理事	地域包括ケアシステム推進委員会	遠藤 陵晃	横浜 YMCA 学院専門学校	非常勤
理事	エリア化推進委員会	和田 尚	自宅会員	非常勤

監事		錠内 広之	日本鋼管病院	非常勤
監事		野々垣 睦美	クラブハウス すてっぷなな	非常勤
顧問		渡邊 慎一	横浜市総合リハビリテーションセンター	非常勤

※役員は職場を持っており報酬はありません

7. 第8期（2023・2024年度）各部・委員名簿

会長		神保 武則	学術部	スキルアップ 研修班	栢沼 綾華
副会長		田中 ゆかり			益田 拓弥
		吉本 雅一			高見澤 広太
監事		錠内 広之			芹澤 健輔
		野々垣 睦美			斎藤 成美
顧問		渡邊 慎一			茂木 茉莉奈
事務局	事務局長	玖島 弘規			西前 英紀
		田中 達也			川口 敬之
		兵頭 夏海			太田 純香
		須崎 可奈子			齋藤 梢
		薄井 文香		葛岡 哲	
財務部	部長	望月 強併		上沼 早慧	
		鈴木 颯人		脇田 美穂	
学術部	部長	佐々木 秀一		古屋 慶一郎	
	スキルアップ	林 慎也		榎本 光彦	
	研修班	田中 秀和		神保 匡良	
		井上 那築		研究助成	石川 哲也
		山本 恵利香		事業班	佐々木 洋子
		梶原 真樹		宮崎 道輝	

学術部	学術誌編集長	鈴木 久義	学術部	査読委員	宮内 貴之
	学術誌副編集長	渡部 喬之	教育部	部長	神保 洋平
	学術誌編集委員	嘉部 匡朗		齋藤七海	
		内堀 謙吾		高橋玲	
		中島 恵美		瀬口結風	
		内原 基成		井上由貴	
		岩井 佑樹		椎野 紫苑	
		阿原 千尋		佐藤 智子	
		佐々木 智		加藤 千裕	
		中村 拓人		水野 友美	
	査読委員	坂本 俊夫		小林 佳弘	
		佐々木 祥太郎		山岡 洸	
		増山 英理子		藤田 法成	
		澤口 勇		木村 亮太	
		篠崎 雅江	金木 貴芳		
		坂本 安令	鈴木 香苗		
		早川 裕子	江川 侑希		
		福留 大輔	小鷹 祐未		
		田邊 浩文	杉浦 隼太		
		窪田 聡	嶋津 美乃里		
		鈴木 雄介	小竹 克郁		
		中西 理佐子	広報部	部長	金山 桂
		佐々木 洋子	広報班	山本 潤	
	廣瀬 卓哉	鈴木 千晶			
丸岡 ちひろ	ニュース班	出口 弦舞			
魚岸 実弦		長谷川 春香			

広報部	ニュース班	丸岡 ちひろ	地域リハビリ テーション部	中島 恵美		
		山岡 洸		初鹿 真樹		
		松井 洋鷹		宮本 啓太		
		佐藤 愛		柏木 和人		
		岩居 洋輝		赤羽 竜馬		
		碓屋 瑛理		坂内 大祐		
	対外広報班	清野 由香里		村田 明穂		
		鈴木 北斗		小松 瑛里		
		水野 友和		渡辺 圭祐		
		羽毛田 佳代子		梶ヶ谷 聡		
		有田 健吾		西浦 淳一郎		
		福島 ひとみ		原島 淳		
		花形 真		芳賀 吉朗		
		佐藤 隼		佐藤 範明		
		天野 沙織		戸塚香代子		
		額谷 文太		増子 拓真		
		竹村 祐樹		庄司 薫		
		福利部		部長	山勢 健太郎	沼澤 真琴
					山口 悠里	佐藤 佳央里
古賀 誠	鎌田 崇寛					
小砂 哲太郎	金子 康					
秋山 莉乃	寺田 紗永					
清水 謙太	渋谷 拓郎					
地域リハビリ テーション部	部長	遠藤 陵晃	早川 大貴			
		札野 優	重森 七美			
		佐藤 隼	宍戸 真帆			

地域リハビリテーション部		千葉 ひより	ウェブサイト 管理委員会		福嶋 祐子
制度対策部	部長	澤口 勇			甲本 夏穂
	福祉用具班	沼田 一恵			清水 拓人
		木村 亮介			都丸 碧
		宮田 和典			千葉 美並
		加藤 結花里			浅井 翔伍
		高吉 亮平			山本 涼未
		川辺 均			学会評議 委員会
	山崎 あゆみ	荻野 祥代			
	郷 康人	小柳 俊介			
	中村 瑞紀	濱口 陽介			
	鈴木 結葉	内山 博之			
	災害対策事業班	宮田 和典	一木 愛子		
		西 則彦	岩切 美帆子		
		佐野 邦典	小林 千裕		
	自動車運転班	渡辺 謙斗	須鎌 康介		
		渡邊 隼人	鈴木 哲理		
	社会保障制度班	山根 剛	森下 容丞		
		奥村 容子	委員長	野本 義則	
		村越 妙美		佐伯 まどか	
		平野 航希	委員長	佐藤 隼	
規約委員会	委員長	神田 崇央			小河原 格也
		生出 太郎			山口 拓也
		中山 淳			森山 康平
ウェブサイト 管理委員会	委員長	佐藤 範明	生活行為向上 マネジメント 推進委員会	委員長	奥原 孝幸
		作田 浩行			村仲 隼一郎

生活行為向上 マネジメント 推進委員会		渡邊 隼人	地域包括ケア システム推進 委員会	委員長	遠藤 陵晃
		石井 有希			木下 剛
		関口 直也			池嶋 孝二
		大場 文			片岡 直人
		岩崎 竜弥			山岡 洸
エリア化推進 委員会	委員長	和田 尚			吉田 倫子
	委員長代理	吉本 雅一			石川 恵美子
		大郷 和成			西川 航平
		小泉 善久			早川 大貴
		藤崎 咲子		選挙管理 委員会	委員長
		谷地 秀昭			廣瀬 智哉
		中井 琢哉			田中 雅士
		高橋 勇大			高見澤 広太
					中村 拓人

8. 一般社団法人神奈川県作業療法士会 会員数結果(2023年度版)

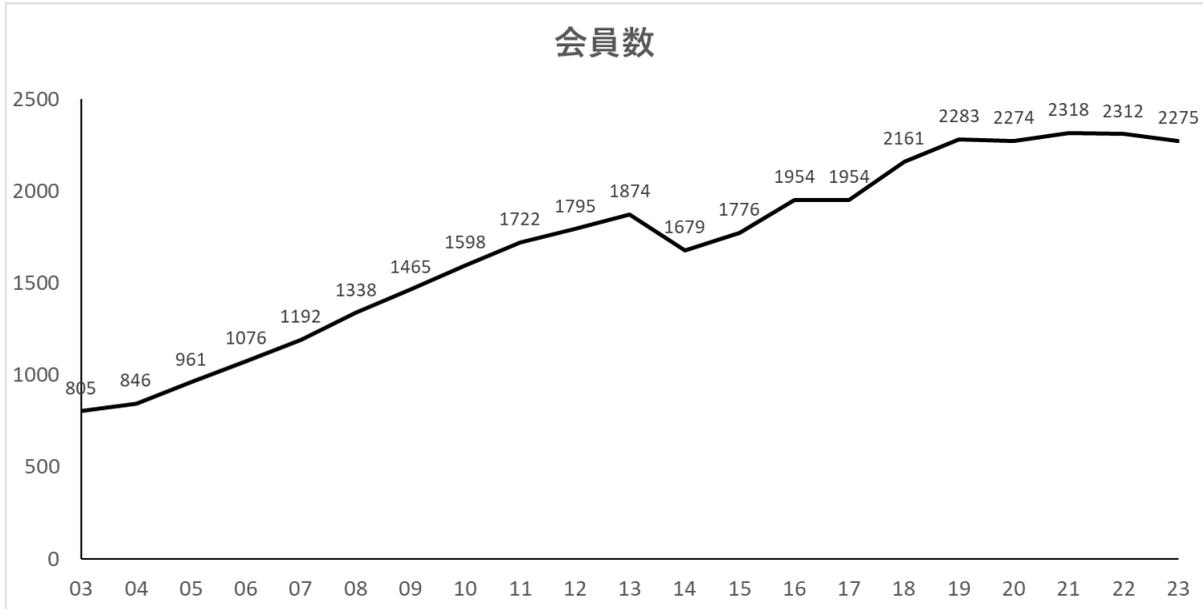
I 会員データ

2023年度現在会員数 **2,275 名**

内訳 施設会員 (常勤) **2,089 名**

自宅会員 (非常勤・休業) **186 名**

(休会会員・・・2023/4/1～2024/3/31まで **15名**)



II 神奈川県内における認定作業療法士・専門作業療法士取得者数(2024. 4. 1 現在)

認定作業療法士	75 名
---------	------

専門作業療法士	11 名	
内訳	高次脳機能障害	2 名
	手外科	2 名
	特別支援教育	0 名
	福祉用具	1 名
	訪問作業療法	1 名
	がん	2 名
	脳血管障害	3 名
	認知症	0 名
	精神科急性期	0 名
	摂食嚥下	0 名
	就労支援	0 名